

会 議 の 経 過

開 議 午前10時00分

令和7年3月7日（第2日目）

予算特別委員長（千葉勝男君）

ただいまから予算特別委員会を開会します。

ただいまの出席委員は全員です。定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

これから本日の会議を開きます。

ここで審査の方法についてお諮りします。

本委員会に付託された7件の予算案の審査は議案ごとに行い、その後、予算全般にわたって総括質疑を行うことにしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

異議なしと認めます。

よって、本委員会の審査は議案ごとに行い、その後、予算全般にわたって総括質疑を行うことに決定しました。

お諮りいたします。

討論は本会議で行うものとして、本委員会での討論は省略し、採決は総括質疑を行った後、議案ごとに行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

異議なしと認めます。

よって、本委員会の討論は省略し、採決は総括質疑を行った後、議案ごとに行うことに決定しました。

本日の委員会の日程は、お手元に配付のとおりです。この日程で進めることに異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

異議なしと認めます。

したがって、この日程で進めることに決定しました。

これより日程に入ります。

予算特別委員長（千葉勝男君）

日程第1、議案第23号、令和7年度平泉町一般会計予算を議題とします。

担当課長の説明を求めます。

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

それでは、議案23号、令和7年度平泉町一般会計予算につきまして、補足説明をさせていただきます。

初めに、令和7年度平泉町一般会計予算の概要についてご説明申し上げます。

資料としてお渡ししております令和7年度平泉町一般会計当初予算分析書で説明させていただきます。

1 ページをお開き願います。

1、令和7年度平泉町一般会計予算の概要でございます。

予算規模につきましては、総額で52億1,700万円となりまして、対前年比で1億1,800万円の増、率にしまして2.3%の増、教育福祉など子育て対策、移住定住対策、産業振興、雇用対策に係る予算を盛り込み編成いたしました。

まず、歳入でございますが、地方交付税、寄附金、諸収入の増加が見込まれるものの、町税、町債の減が見込まれますことから、財政調整基金など主要基金を一部取り崩して必要な財源を確保いたしました。

1 款町税でございますが、町民税法人分が増額となったものの、個人分が納税見込み者数などの減により、合わせて225万4,000円、0.8%の減、固定資産税は、家屋課税標準見込額が増額となったものの、土地償却資産課税標準見込額の減少により、0.4%の減、軽自動車税は、環境性能割の増により1.9%の増、たばこ税は、販売本数の減少を見込み3.5%の減、入湯税は、日帰り客数の増加により2.0%の増、町税全体で547万9,000円、0.7%減の8億94万2,000円と見込んでおります。

次に、7 款地方消費税交付金でございますが、県の動向を踏まえ、90万円、0.5%増の1億9,250万円と見込んでおります。

次に、10 款地方交付税でございますが、国の地方財政対策の動向を踏まえまして、普通交付税は1,100万円の増、特別交付税は2,015万1,000円の増、合わせて3,115万1,000円、1.4%の増、22億1,203万2,000円と見込んでございます。

次に、14 款国庫支出金でございますが、特別史跡無量光院跡公有化事業補助金7,425万3,000円の増、児童手当負担金1,151万2,000円増など1,707万6,000円、3.4%増の5億1,665万9,000円と見込んでございます。

次に、15 款県支出金でございますが、特別史跡無量光院跡公有化事業補助金の増、参議院議員選挙委託金の増などによりまして604万1,000円、1.9%増の3億2,803万9,000円と見込んでおります。

次に、18 款繰入金でございますが、予算書32、33ページに記載してございますが、基金の取崩し額につきましては、財政調整基金3億724万9,000円、減債基金2,398万1,000円、ふるさと応援寄附基金8,270万円、公共施設等整備基金2,000万円、まち・ひと・しごと創生推進基金75万円、福祉振興基金21万円、新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金111万1,000円、文化

観光振興基金1,910万円、世界遺産推進基金400万円、合計で4億5,910万1,000円となり、前年度と比較しますと5,257万4,000円、12.9%の増となります。当初予算編成での取崩しによりまして、財政調整基金は7億4,581万5,000円、基金全体では11億5,955万1,000円となる見通しでございます。

次に、21款町債でございますが、臨時財政対策債は対前年比1,100万円皆減となっております。道路橋梁改良事業は対前年度比3,600万円、31.7%の減、7,750万円と見込んでおり、町債全体で5,650万円、18.5%の減と見込んでございます。

次に、歳出でございますが、予算分析書6ページの(2)性質別歳出の状況をご覧くださいと思います。

初めに、1の人件費でございますが、前年度比較で6,738万8,000円、5.8%の増となっております。主な要因といたしましては、会計年度任用職員の勤勉手当の支給に伴う増、人事院勧告に呼応した一般職の給与改定、期末勤勉手当の支給率引上げに伴う増などとなっております。

次に、2の物件費でございますが、デジタル基盤整備事業や旧平泉町公民館解体事業、学習交流施設用用地購入費などで、全体で1億5,803万8,000円、20.9%の増となっております。

次に、3の維持補修費でございますが、施設等の維持補修等の減によりまして94万2,000円、0.8%の減となっております。

次に、4の扶助費でございますが、児童手当費や老人保護措置費の減などにより856万6,000円、1.5%の減となっております。

次に、5の補助費でございますが、ふるさと応援寄附返礼品を委託料に含めたことに伴う減など1,430万5,000円、1.5%の減となっております。

次に、6の公債費でございますが、臨時財政対策債、公営住宅債などの減により616万5,000円、1.4%の減となっております。

次に、7の積立金でございますが、ふるさと応援寄附金等の増により3,125万8,000円、38.9%の増となっております。

次に、8の投資及び出資金でございますが、水道事業会計出資金等の減などにより1,163万3,000円、8.7%の減となっております。

次に、9の繰出金でございますが、国民健康保険特別会計への繰出金の増などにより1,020万3,000円、4.4%の増となっております。

次に、10の投資的経費でございますが、橋梁長寿命化事業、第7分団ポンプつき消防自動車更新事業が終了したことなどによりまして1億727万6,000円、18.8%の減となっております。

なお、義務的経費につきましては、人件費が増額、扶助費、公債費は減額となっておりますが、歳出全体の43.1%となっております。ここ7年間は40%台で推移しており、類似団体の平均と比較いたしますと依然として高い割合を示している状況でございます。

訂正させていただきます。

先ほど10の投資的経費の総額でございますが、1億727万6,000円、18.0%の減、先ほど18.8と申し上げましたが、18.0%の減となっております。

それでは次に、令和 7 年度平泉町一般会計、特別会計、下水道事業会計、水道事業会計予算書の 2 ページをお開き願います。

第 1 表、歳入歳出予算でご説明させていただきますが、款項同額の場合は項の額でご説明いたします。

初めに、歳入でございます。

1 款町税 8 億 94 万 2,000 円、1 項町民税 2 億 6,951 万 2,000 円、2 項固定資産税 4 億 2,426 万 4,000 円、3 項軽自動車税 3,265 万 5,000 円、4 項町たばこ税 6,550 万 6,000 円、5 項入湯税 900 万 5,000 円。

2 款地方譲与税 7,017 万 5,000 円、1 項地方揮発油譲与税 1,550 万円、2 項自動車重量譲与税 4,980 万円、3 項森林環境譲与税 487 万 5,000 円。

3 款利子割交付金、1 項利子割交付金 23 万円。

4 款配当割交付金、1 項配当割交付金 210 万円。

5 款株式等譲渡所得割交付金、1 項株式等譲渡所得割交付金 210 万円。

6 款法人事業税交付金、1 項法人事業税交付金 1,330 万円。

7 款地方消費税交付金、1 項地方消費税交付金 1 億 9,250 万円。

8 款環境性能割交付金、1 項環境性能割交付金 440 万円。

9 款地方特例交付金 430 万 1,000 円、1 項地方特例交付金 430 万円。

3 ページでございます。

2 項新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 1,000 円。

10 款地方交付税、1 項地方交付税 22 億 1,203 万 2,000 円。

11 款交通安全対策特別交付金、1 項交通安全対策特別交付金 85 万円。

12 款分担金及び負担金、1 項負担金 1,097 万 7,000 円。

13 款使用料及び手数料 3,918 万 8,000 円、1 項使用料 3,568 万 6,000 円、2 項手数料 350 万 2,000 円。

14 款国庫支出金 5 億 1,665 万 9,000 円、1 項国庫負担金 2 億 1,928 万 2,000 円、2 項国庫補助金 2 億 8,858 万 8,000 円、3 項委託金 878 万 9,000 円。

15 款県支出金 3 億 2,803 万 9,000 円、1 項県負担金 1 億 690 万 5,000 円、2 項県補助金 1 億 8,803 万 8,000 円、3 項委託金 3,309 万 6,000 円。

16 款財産収入 2,730 万 9,000 円、1 項財産運用収入 2,730 万 4,000 円、2 項財産売却収入 5,000 円。

17 款寄附金、1 項寄附金 9,000 万 2,000 円。

次に、4 ページでございます。

18 款繰入金 4 億 6,410 万 1,000 円、1 項特別会計繰入金 500 万円、2 項基金繰入金 4 億 5,910 万 1,000 円。

19 款繰越金、1 項繰越金 1,000 円。

20 款諸収入 1 億 8,849 万 4,000 円、1 項延滞金、加算金及び過料 5 万円、2 項町預金利子 1,000 円、3 項貸付金元利収入 2,775 万 1,000 円、4 項受託事業収入 39 万 8,000 円、5 項雑入 1 億 6,029

万4,000円。

21款町債、1項町債 2億4,930万円。

歳入合計52億1,700万円でございます。

次に、5ページ、歳出でございます。

1款議会費、1項議会費8,002万9,000円。

2款総務費 9億2,008万9,000円、1項総務管理費 7億3,673万6,000円、2項徴税費9,753万1,000円、3項戸籍住民基本台帳費6,289万円、4項選挙費901万2,000円、5項統計調査費1,268万2,000円、6項監査委員費123万8,000円。

3款民生費12億7,661万6,000円、1項社会福祉費 7億5,914万7,000円、2項児童福祉費 5億1,743万9,000円、3項災害救助費 3万円。

4款衛生費 4億1,117万6,000円、1項保健衛生費 2億1,950万6,000円、2項清掃費 1億9,167万円。

5款労働費、1項労働諸費121万2,000円。

6款農林水産業費 3億2,821万4,000円、1項農業費 2億9,503万3,000円、2項林業費3,318万1,000円。

7款商工費、1項商工費 1億3,934万3,000円。

8款土木費 4億7,711万3,000円。

6ページでございます。

1項土木管理費2,452万9,000円、2項道路橋梁費 2億253万2,000円、3項河川費2,919万9,000円、4項都市計画費 1億5,432万3,000円、5項住宅費6,653万円。

9款消防費、1項消防費 2億457万1,000円。

10款教育費 9億2,003万5,000円、1項教育総務費 1億3,185万3,000円、2項小学校費 1億5,112万2,000円、3項中学校費7,889万6,000円、4項幼稚園費2,832万8,000円、5項社会教育費 5億1,355万6,000円、6項保健体育費1,628万円。

11款災害復旧費、1項公共土木施設災害復旧費370万円。

12款公債費、1項公債費 4億4,490万1,000円。

13款諸支出金、1項普通財産取得費1,000円。

14款予備費、1項予備費1,000円。

失礼いたしました。14款、もう一度申し上げます。

14款予備費、1項予備費1,000万円。

歳出合計52億1,700万円でございます。

次に、7ページをお開き願います。

第2表、債務負担行為でございます。

事項別に説明いたします。

令和7年度平泉町中小企業振興資金の融資に伴う利子補給につきましては、期間は令和8年度から令和14年度まで。限度額は、中小企業者等が借入れする中小企業振興資金 2億3,000万円

に対する利子、年2.0%以内の額でございます。

平泉町学習交流施設指定管理料につきましては、期間は令和8年度から令和8年度まで。限度額は6,400万円以内でございます。

次に、8ページ、第3表、地方債でございます。

起債の目的ごとに限度額を説明いたします。

旧平泉町公民館解体事業3,450万円。水道事業会計出資金3,740万円。ごみ処理施設整備事業1,780万円。農村地域防災減災事業670万円。基幹水利施設ストックマネジメント事業860万円。道路橋梁改良事業7,750万円。緊急浚渫推進事業1,500万円。公営住宅改修事業2,250万円。防災行政情報通信ネットワーク更新事業520万円。Jアラート専用受信機整備事業220万円。特別史跡無量光院跡保存修理事業880万円。特別史跡無量光院跡公有化事業1,310万円。限度額合計2億4,930万円でございます。いずれも、起債の方法は証書借入または証券発行、利率は3.0%以内、ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては当該見直し後の利率。償還の方法は、政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定する。ただし、町財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、または繰上償還若しくは低利に借換えをすることができるとしようとするものでございます。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

これで説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑、答弁にあつては、会議規則第53条に基づき、簡明な発言により、議事の進行にご協力いただきますようお願いを申し上げます。

発言の際は、予算書のページ数、款項目節をお示し願います。

初めに、7ページの第2表、債務負担行為及び8ページの第3表、地方債についてご発言願います。

8番、高橋伸二委員。

8 番（高橋伸二君）

7ページの学習交流施設の指定管理料についてでございますが、債務負担行為でございますから、将来の支出を約束するものでありまして、令和8年度から令和8年度というふうになっております。私は、去る2月26日のこの指定管理料をめぐる議論の経過というのをやっぱりしっかり大事に対応していただきたいというふうに思います。簡単に言えば、令和8年度の支出に当たっては、当初の指定管理料というのは基本になるべきであって、そこに26日の議論で双方の共通認識を持ったというふうに思うのですが、物価上昇率などを勘案したその範囲内での指定管理料に収めるべきだと。もちろん限度額に6,400万円以内という表現をされていますから、そのことを含んでいると思うのですが、26日のあの720万円総額の議論経過を振り返れば、必ずしも6,400万円以内ということが独り歩きをしていくことがないというふうに思うのですが、いかがでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

学習交流施設の指定管理料に伴います債務負担行為につきましては、議員おっしゃるとおり、来年度にまた新たにその5年間の指定管理といったようなところで公募する予定となっておりますので、その際につきましては、今後、応募の際に関しましては、今後その要求水準書をさらに精査しながら、その事業内容等に基づきまして、さらにそれに伴います費用等につきましても精査いたしまして、その適正な委託料につきましては設定してまいりたいと考えておりますので、この6,400万円以内といったようなところで今後設定してまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行の声がございますが、進行してよろしいですか。

進行します。

次に、歳入歳出予算事項別明細書により質疑を行います。

初めに、歳入を行います。

11ページから15ページの1款町税についてご発言願います。

3番、大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

11ページの1目個人の分で、1節現年課税分で、均等割課税見込額なのですが、納税見込み者掛ける3,000円になっていますが、前年度は3,500円なのですが、このなぜ3,000円になったのかお伺いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

ただいまの均等割課税の見込み者数のところで3,000円というところのご質問でございましたが、こちらにつきましては、東日本大震災から復興や防災のために施策する費用の財源を確保するため、臨時の措置として平成26年度から令和5年度までの間、個人町民税・県民税の均等割額がそれぞれ500円引き上げられていたというところがございます。この臨時の措置につきまして終了したことからということになりますが、本来であれば令和6年度の予算編成の時期にも、こちら時限でございましたので、3,000円とするべきところだったというところがございます。現年度分につきましては、9月の補正予算にて減額をさせていただいております。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

1 番、小埜寺享委員。

1 番（小埜寺享君）

14から15ページの第1款町税、5項入湯税、1目入湯税、区分1の現年課税分の課税見込額なのですけれども、宿泊1万6,334人、日帰り8万403人なのですが、見込み人数の設定理由をお願いいたします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

入湯税の見込額というところでございます。宿泊につきましては3,076人の減人数ということでございますし、日帰りにつきましては8,553人の増というふうに見込んでございます。こちらにつきましては、令和6年度の実績を見込み、さらには健康福祉交流館の休館日が第1、3火曜日から、毎週火曜日というふうに変更になることから、健康福祉交流館の入湯税の積算なども加味いたしまして、令和6年度の実績と、それから来年度の健康福祉交流館の入湯税の見込みというのを勘案しての算出の金額でございます。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小埜寺享委員。

1 番（小埜寺享君）

その入湯税の宿泊の人数なのですけれども、3千何がし減ったということは、令和6年度の見込みが1万9,412人になっております。それだけ減って、今回の設定になったわけですけれども、本来はこのインバウンド効果があって宿泊人数伸びておかしくないときに減っているということは、何かしらの対策は取っていかなきゃいけないのかなとは思っているのですが、その辺伺いたいします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

入湯税につきましては、宿泊施設が町内の2か所というようなことでございますので、税務課といたしましては、こちらの実績に基づいての積算ということでございます。宿泊の喚起につきましては、観光サイドですとかそういったところでの施策の対応というようなことかというふうに思っております。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

(「進行」の声あり)

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行の声があります。進行します。

次に、15ページから19ページの2款地方譲与税、3款利子割交付金、4款配当割交付金、5款株式等譲渡所得割交付金、6款法人事業税交付金、7款地方消費税交付金、8款環境性能割交付金、9款地方特例交付金、10款地方交付税、11款交通安全対策特別交付金についてご発言を願います。

2番、千葉多嘉男委員。

2番（千葉多嘉男君）

16ページの2款3項1目1節の森林環境譲与税についてでございますが、森林環境譲与税は森林の整備や公益的機能の維持に関する施策に要する費用に充てられる税金となっておりますが、林業振興費の中ではどのような事業に充当されているかお伺いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

この森林環境譲与税の充当先というところかと思いますが、歳出の93ページになりますけれども、93ページの上から2段目のところで、森林整備業務委託料410万1,000円、こちらのほうに充当したいと思っておりますけれども、こちらの事業につきましては、森林の経営管理権集積計画というものを現在随時作成しておるわけですが、民有林といいますか、個人所有の山林を町が委託を受けて、その森林について間伐を行っていくというような事業、そちらのほうに充当していきたいというふうに思っております。また、残りがあれば、森林病虫害防除事業、町の単独事業の松くい被害木の伐採、そちらのほうにも充当していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈光幸委員。

7番（真竈光幸君）

16ページの3款利子割交付金であります。この前年度比較の7万円というのは、これ人口減少による案分率で下がったものなのかをお伺いします。

それから、19ページの地方交付税であります。この第1節特別交付税について……

予算特別委員長（千葉勝男君）

すみません。1つずつで結構ですから。

7番（真竈光幸君）

はい。それではお願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

今、委員のおっしゃられた利子割交付金の減の要因につきましては、こちらではその人口減というような要素もあるかと思いますが、詳細の内容が示されない中でのそういう交付の決定見込みを受けた中での算定となっております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7 番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

19ページの10款地方交付税、1 節特別交付税であります、この特別交付税の増額2,000万円ほど前年より増額されておりますが、この特別交付税の要因についてお願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

岩渕総務課長。

（発言する声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

若干お待ちください。

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

地域おこし協力隊が今年度6名ですけれども、次年度またさらに3人の採用というか、委託事業でございますから、9人になる予定ということで、その分が特別交付税として予算措置されるもの等でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7 番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

では、もう一つだけ。

同じく19ページの11款交通安全対策特別交付金であります、これが45万円ほど減額になっておりますが、これは本町の交通事故がないということによることに起因するものなのかお知らせください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

交通安全対策特別交付金の算定基礎は、人口、交通事故発生件数、道路改良済み道路延長等の要素を考慮されて算定されるものですので、事故が必ずしも少ないということだけでの要因ではないということでご理解いただければと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

9 番、佐藤孝悟委員。

9 番（佐藤孝悟君）

9 款の 2 項の新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金でありますけれども、数字とはあまり関係ないのですが、実は国のほうでコロナ期間のときに貸出しをしたということでございますが、この貸出した分、1 兆 4,000 億円ほどあったわけなのですが、それが半分ぐらいはもう返ってこないのではないかという話でありました。

そこで、この関係が住民税の非課税世帯の借り入れの中で、住民税の非課税世帯は返済免除ということになっております。それ以外でも返済猶予を申請し、返済見込みがなければ免除。ほとんど免除ということなのですが、この点に関しまして、知り得る分だと思いますけれども、基本的には免除される部分の人たちにいろんな PR しなきゃ分かんない部分であろうかと思いますが、そういうことはなされたのかと。これは大分前の話でありますけれども、2020 年からの貸出しの中で、今この頃その返済が始まったということなのです。その分かっている分を教えてくださいたいのですが。

予算特別委員長（千葉勝男君）

9 番、佐藤孝悟委員。今言っているのはどこのページなのでしょう。

9 番（佐藤孝悟君）

18 ページ。

予算特別委員長（千葉勝男君）

18 ページ。

質問の意味がつかめないようだから。

9 番（佐藤孝悟君）

歳出でします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

歳出で質問したいということ。

9 番（佐藤孝悟君）

はい。

予算特別委員長（千葉勝男君）

では、今回はこれでいいですか。

分かりやすくお願いしたいのですが。難しいようですので。

では、歳出になったらお話しください。

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行の声がありますので、進行します。

次に、19 ページから 22 ページの 12 款分担金及び負担金、13 款使用料及び手数料についてご発言願います。

7 番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

20ページ、13款の使用料及び手数料であります、1節総務使用料、志業シェアハウスの使用料であります、この現在の利用状況についてご説明をお願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

志業シェアハウスにつきましては、スパルタキャンプの講座開催期間中、参加者の滞在場所として使用してございます。それから、世界と平泉の企業1社が事務所として活用してございますし、スパルタキャンプ終了後、町内で起業を目指す方が臨時的に活用する場合があります。そういった大きくは3つで活用しております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

その利用料が46万8,000円と減額になっておりますが、利用者が減っているということでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

企業の部分については変わりはありませんが、スパルタキャンプの日数が減っていることと、あと活用する方の人数が減っているということで、実績に基づきまして算定をした結果の減でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7 番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

次、同じページの3目の土木使用料であります、3節行政財産目的外使用料についてお伺いしますが、町営住宅の使用の現況、内訳についてお願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

目的外使用料の件でございますけれども、増額にしておりますのは、地域おこし協力隊3名分と、お試し居住体験事業2名分と、活用促進事業2名の方の使用料で、地域おこし協力隊分の1名を増としておりまして、増となっております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

6 番、三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

13款使用料及び手数料ですけれども、4目教育使用料の6節学習交流施設の使用料ですが、

前年度、令和6年のときには300時間40団体というようなことだったと思うのですけれども、利用が随分進んでいるというふうに思うわけですよ、利用者がね。そういう中でこの使用料が同じというのはどういうことなのかなと思います。伺います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

学習交流施設の使用料の施設使用料につきましては、こちら使用料につきましては、登録団体等におかれましては減免の対象になるといったようなところもございますので、その利用している団体が全て納めているというような状況ではございませんので、そういったところを考慮し、多目的ホール、研修室の利用、調理実習室の利用、ICT、和室等々ありますので、そちらのほうをその減免の団体に係る分といったようなところで見込みまして、12万円としているというようなところでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

6番、三枚山光裕委員。

6番（三枚山光裕君）

といいますと、登録団体の利用はそういうことですから、登録団体外というのは使っていないとか、広がっていないということでもいいわけですか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

委員おっしゃるとおり、学習交流施設エピカにつきましては、やはり登録団体の利用がかなりを占めているというような状況にあります。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

1番、小埜寺享委員。

1番（小埜寺享君）

19ページ、12款の分担金及び負担金、1項負担金になります。保育料の部分なのですが、現年度分で毎年、約300万円余り減っているようなのですけれども、現在と来年の保育園に入られる方の利用者数を教えていただきたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

来年度にまず入られる予定の方をお話ししますが、平泉保育所につきましては、現時点で来年の申込者が89名、長島保育所につきましては43名です。それで、現在というか、現時点で入られている方、平泉保育所につきましてはたしか105名かというふうに理解しております。長島

につきましては、すみません、手元にないのですが、50数名というふうに理解しているところでございます。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかに。

小埜寺享委員。

1 番（小埜寺享君）

それでは、21ページの13款の使用料及び手数料の項目なのですが、昨年まで実は学校開放施設使用料という項目があって、今回、令和7年度からはその項目がなくなって、多分44万1,000円の減というふうな感じになっているのかなとは思うのですが、今年度からは学校は開放しないというふうな感覚でよろしいですか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

学校開放施設使用料につきましては、平泉中学校のナイターの照明使用料でございますが、こちらの関係につきましては、このたびの予算編成時におきまして、本来であればこの分につきましては、令和7年度におきましても計上すべきところではございますが、その予算に計上するという手続きを怠ってしまったところでございます。これは予算編成における確認不足とチェック体制の不備によるものでございまして、深く反省しているところでございます。本来であれば、使用状況からその照明の年間使用量につきましては約5,000円程度、そのほかに共通回数券の使用料といったところで約2万円程度見込まれるところでございますので、こちらにつきましては、令和7年の6月の補正等にて対応してまいりたいと思っております。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

それでは、進行の声がありますので、進行します。

次に、22ページから30ページの14款国庫支出金、15款県支出金についてご発言願います。

7 番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

23ページの14款国庫支出金であります。1項2目1節衛生費負担金、妊婦のための支援給付交付金、新設であります。この概要、受給要件、金額等を教えてください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

妊婦のための支援給付交付金でございますが、まずこの事業につきましては、令和7年度から国の法に基づいて、新しく法改正されたことによって、妊婦であることが認定後に5万円を給付すると。さらに妊婦している子供の人数の届出において、子どもの数掛ける5万円の給付になると。現時点でやっている出産応援交付金に代わるものというふうに理解しているものでございます。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈委員。

7番（真竈光幸君）

子どもの数に対して5万円。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

二度ほど給付になるのですが、一度は、今お話ししましたが、妊婦であることが確認、認定された場合に妊婦に対して5万円を給付すると。その後、妊娠している子どもの人数……

（発言する声あり）

子育て支援課長（千葉光祉君）

そうです。双子とか三つ子だというふうに認定になれば、1人につき5万円の給付ということでございます。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

6番、三枚山委員。

6番（三枚山光裕君）

23ページ、14款2項1目1節の社会保障・税番号制度システム整備費ですけれども、いろんなシステム関係、いつも最近は増えているわけです。これはいわゆる名字などの改正関係になるのでしょうか。度々とにかくこういうシステム関係が出てきて、負担が大きいと思うのですけれども、どうなのでしょう。

予算特別委員長（千葉勝男君）

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

23ページの14款2項国庫補助金の部分でございますが、1目1節総務補助金の社会保障・税番号制度システム整備補助金（戸籍事務分）というところでございますけれども、今年度5月から戸籍の振り仮名が入りまして、それに伴いまして、振り仮名の部分の通知に係る運用の費用、通知費用、それから、その通知を作成する費用というような形での補助金というような内

容になってございます。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

25ページですけれども、5目教育費国庫補助金、県と国から出ているわけですが、町内埋蔵文化財再整備事業補助金の内容について伺いたいと思います、どのような内容か。

25ページですけれども、24ページからの教育費国庫補助金の3節文化財費補助金というのがあるわけですよ、国と県から来るわけですが、その一番最後です。町内埋蔵文化財再整理事業補助金の内容です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

高橋文化遺産センター館長。

平泉文化遺産センター館長（高橋国博君）

ただいまの町内埋蔵文化財の再整理事業の補助金ということでのご質問でございましたが、平成23年度以降に発掘調査で出土した文化財、出土遺物がありますが、それについての改めて再整理を行うということと、それに伴いまして、公開活用の事業の一環といたしまして、その整理した事業の公開展示あるいは講演会の開催を行うというものになります。補助金の歳出につきましては、作業員の賃金や講演会に対して、国から50%補助というものでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

それでは、同じ25ページの5目教育費国庫補助金について、別項目でお伺いしますが、3節の文化財費補助金になりますが、特別史跡無量光院跡公有化事業の補助金として、公有しようとする面積、範囲等、詳細をお願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

高橋文化遺産センター館長。

平泉文化遺産センター館長（高橋国博君）

公有化事業につきましての内容についてのご質問ということでございましたが、面積につきましては資料を持ち合わせておりませんので、後刻とさせていただきたいというふうに思います。内容につきましては、無量光院跡の南東側の公有化を計画しているところでございます。当該地につきましては、整備事業で必要な場所ということで、庭園としての整備がされれば、無量光院の広がりが分かるということで、すばらしい庭園空間が広がるものというふうに思っております。面積につきましては、後から報告をさせていただきたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

該当する地権者は何件になるのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

高橋文化遺産センター館長。

平泉文化遺産センター館長（高橋国博君）

該当する地権者につきましては1件ということになります。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈委員。

7番（真竈光幸君）

もう一点、その同じ項目の重要文化財の保存修理事業の補助金165万円の計上であります、この対象となる文化財と内容についてお知らせをお願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

高橋文化遺産センター館長。

平泉文化遺産センター館長（高橋国博君）

重要文化財の保存修理事業の内容ということでございますけれども、平泉遺跡の柳之御所遺跡から出土いたしました井戸枠に係る保存処理に係る事業ということになります。これまでアクリル板にビス止めで保存しておりましたが、劣化が進んできたということで重要文化財でもあるということでございますので、保存処理を行うということでございます。事業期間は令和6年度から令和9年度までの4年間と計画となっております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

5番、阿部委員。

5番（阿部圭二君）

27ページ、15款県支出金2項1目総務費県補助金の地域少子化対策重点推進事業補助金ですが、どこに係る補助金でしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

27ページ、総務費補助金の地域少子化対策重点推進事業費補助金143万1,000円でございます。こちらにつきましては、2つの事業に対する補助金となります。1つ目が、栗登一平4市町合同の婚活事業を行っておりますので、その負担金の分3万1,500円、それから、新年度新たに事業として実施をいたします結婚新生活支援事業の3分の2の補助となっております。結婚新生活支援事業につきましては、29歳までの方が70万円の補助、29歳を超えて39歳までの方が30万円の補助ということになりまして、これの3分の2が補助金として交付をされるという内容でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございせんか。

(発言する声なし)

予算特別委員長（千葉勝男君）

ないようですので、ここで暫時休憩をします。

休憩 午前 11 時 03 分

再開 午前 11 時 18 分

予算特別委員長（千葉勝男君）

再開をいたします。

先ほど真簞委員からの質疑に対し、高橋文化遺産センター館長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

高橋文化遺産センター館長。

平泉文化遺産センター館長（高橋国博君）

先ほど後刻としておりました公有地化の予定の面積についてでございますが、面積につきましては361.22平方メートルということになります。

予算特別委員長（千葉勝男君）

真簞委員、よろしいですか。

(「はい、ありがとうございます」の声あり)

予算特別委員長（千葉勝男君）

次に、30ページから33ページの16款財産収入、17款寄附金、18款繰入金についてご発言願います。

2番、千葉委員。

2番（千葉多嘉男君）

32ページの18款2項1目の財政調整基金繰入金でございますが、これにつきまして、来年度以降のその見込み等が分かれば教えていただきたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

財政調整基金の見込みということでございますけれども、基金残高で申し上げます。基金の繰入れ後の残高でございますけれども、令和7年度終了時点で、100万円単位で申し上げますと、令和7年度末で7億4,600万円、令和8年度が6億5,600万円、令和9年度が5億4,100万円、令和10年度が4億2,400万円、令和11年度が3億1,500万円という中長期的な財政見通しの中での予測として捉えております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございせんか。

11番、升沢委員。

1 1 番（升沢博子君）

33ページの同じく基金繰入金の8目文化観光振興基金繰入金ですが、今まで大体2,000万円台で推移してきたと思うのですが、今回1,900万円という形で減額になっている理由についてお知らせ願います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

18款繰入金、2項基金繰入金の8目文化観光振興基金繰入金でございます。令和7年度は1,910万円ということで、前年比100万円の減となっておりますが、この理由でございますけれども、これにつきましては、文化観光振興基金の運営委員会で、町と中尊寺、毛越寺、達谷西光寺、4者で協議をして、3月3日に確定はしております。通常は1回で開催しているのですが、いろんな諸事情がございまして、12月にも臨時の委員会を開催して、町では何とかこれからも契約の事業は続きますので、お願いをしたところでございます。また、個別にも中尊寺、毛越寺、達谷西光寺さんにも何回も出向いて協議をしてお願いをしたところでありましたが、コロナで減収になっていると。また、中尊寺なり毛越寺も修繕とか維持管理も高騰するというようなところで、どうしても前年並みの基金の拠出は難しいということになりまして、最終的に3月3日にこの1,910万円ということで確定をしております。内訳につきましては、町が1,000万円、中尊寺が600万円、毛越寺が300万円、達谷西光寺さんが10万円ということで、合計1,910万円となっております。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

11番、升沢委員。

1 1 番（升沢博子君）

改めてなのですが、この基金を使用の1年間、そういった観光の部分のこういったところに使われているかお知らせ願いたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

この文化観光基金の繰入れの拠出先なのですが、観光協会の運営補助金ですとか、藤原まつりの補助金の一部でもありますし、観光宣伝、ポスターとか作成部分、印刷製本費も含めてあります。新年度は国際交流員も充当したいということでもありますので、そういった観光事業10項目以上あるのですが、それに財政と協議しながら、後はその運営委員会のほうで了解いただきながら、観光事業に対して充当しているというところでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

(「進行」の声あり)

予算特別委員長(千葉勝男君)

進行の声があります。進行します。

次に、33ページから38ページの19款繰越金、20款諸収入、21款町債についてご発言願います。

11番、升沢委員。

11番(升沢博子君)

37ページ、20款5項1目雑入の中の一番最後になりますが、ネーミングライツ料という項目がございしますが、この内容についてお知らせ願いたいと思います。

予算特別委員長(千葉勝男君)

千葉教育次長。

教育次長(千葉数馬君)

37ページの雑入のネーミングライツ料になりますが、こちらにつきましては、町営長島球場に係るネーミングライツといったようなところで、現在は募集を締め切っている状況ではございます。こちらにつきましては、委員ご承知のとおり、公共施設に企業名等などの愛称をつける権利で、その施設の維持管理等の自主財源の確保のため、ネーミングライツに取り組んできたところでございます。こちらにつきましては、応募が1者ございましたので、こちらの選定委員会を3月13日に行いまして、そこで優先交渉権者を決定して、4月1日からその球場の愛称をつけた形で取り組んでまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

予算特別委員長(千葉勝男君)

11番、升沢委員。

11番(升沢博子君)

了解しました。そういった形で体育館とか、そういうところの冠みたいで名称ついているようですけれども、ぜひそういう決まった時点で町民に広くお知らせするということは当然やられるわけですね。

予算特別委員長(千葉勝男君)

千葉教育次長。

教育次長(千葉数馬君)

その町民への周知といったようなところに関しましては、いずれ先ほど申したとおり、3月13日に審査委員会開催しますので、その後、応募者との協定等の締結を踏まえて、町民等へは広く周知してまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

予算特別委員長(千葉勝男君)

ほかにございませんか。

2番、千葉委員。

2 番（千葉多嘉男君）

37ページの20款5項1目4節雑入の自治体国際化協会国際交流支援事業助成金の詳細についてお伺いしたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

37ページ、雑入の中の自治体国際化協会国際交流支援事業助成金154万1,000円の内容でございますけれども、新年度において、ドイツのシュパイヤー市を訪問する予定としてございます。それに対する助成、費用が308万2,000円の2分の1ということで計上させていただいております。ドイツのシュパイヤー市との交流につきましては、平成29年から続けておりまして、これまでシュパイヤー市の代表団が2回ほど当町を訪問し滞在をしながら、学校訪問だったりとか、様々ライオンズクラブの皆様とかの交流をしてきたところでございますが、令和6年、去年の9月にもおいでいただいた際に、市長の親書を届けていただきまして、町長に対し招待を受けたということがございますので、来年のシュパイヤー市で開催されます文化メッセのほうに日本各地から参加されるそうなのですが、そこに平泉町の若い方を招集したいということでご案内を受けておりますので、そちらのほうに参加をしていくということで予定してございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

7番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

36ページの20款諸収入の5項1目雑入のうちの物件移転補償金について、その中身を説明お願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

これは県道一関北上線の道路改良に伴う県の移転補償となります。内容といたしましては、長島保育所の遊具の入替え、そしてあと、総務課においてはその避難所として指定している長島体育館の誘導看板の移転、そしてもう一つが……すみません、後刻の答弁とさせていただきます。申し訳ございません。

予算特別委員長（千葉勝男君）

では、後刻ということで。

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行の声があります。

以上で歳入を終わります。

これより歳出に入ります。

39ページから40ページの1款議会費についてご発言願います。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行の声がありますので、進行します。

次に、41ページから54ページの2款総務費のうち1項総務管理費についてご発言願います。

3番、大友委員。

3 番（大友仁子君）

初めに、45ページの3目財務管理費、12節委託料の中の公会計システム関係が3点ありますが、この公会計についてのメリットをお知らせ願います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

45ページの財務管理費、12節委託料の公会計システムに係る経費につきましてご説明申し上げますけれども、これは令和8年度決算を対象に財務書類の情報の充実、固定資産台帳の整理・精緻化に対応した整備が求められておりまして、この準備のためのシステム等の切替え等を行うということに係るものでございます。所有外管理資産の資産計上であるとか、賃借対照表の負債における地方債の内訳表示、それから固定資産台帳の整理・精緻化というようなところが国から示されておることの対応に係る経費ということでご理解賜りたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

大友委員。

3 番（大友仁子君）

次に、49ページの12節委託料の中に、プログラミング講座開催委託料があるのですが、その前に去年までプログラム教室開催委託料100万円があったのですが、今回ないのですが、その要因についてお知らせ願います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

49ページのプログラミング講座開催委託料に関わって、昨年まであった教室の委託料がないということですが、教室につきましては、小学生、中学生を対象に実施をしていたものでございますが、次年度、令和7年度からは地域おこし協力隊の山内隊員がそれを担うということにしておりますので、外部へ委託することをしないで地域おこし協力隊が担っていくということでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

3番、大友委員。

3 番（大友仁子君）

次に、その委託料の中の一番下の地域おこし協力隊4,680万円なのですが、先ほど3名プラスということで1,800万円増なのですが、この3名は決まっているのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

49ページの委託料の中の地域おこし協力隊の業務委託料に関わってでございますが、新年度、令和7年度からの採用予定3名の募集を昨年12月に開始をいたしまして、3名の応募がございました。その中で2月18日にプレゼン及び面談等を行いまして、3名全員の選考を終えております。新年度から3名着任をするという予定にしておりますが、内容につきましては、新年度から地域おこし協力隊になる方の提案型のテーマというものを初めて導入をいたしました。これまではこちらで示したテーマに従事される方ということでございましたが、よりその移住、それから起業に向かっていきやすいように、自分たちが平泉に合った課題の解決に向けて、自分たちのやりたいプロジェクトを実施していくということで募集をさせていただきました。3名とも、俗に言うフリーミッションのプロジェクトということになりますが、大きく言うと、3名とも関係人口の拡大に関わる、大きな分野ということでございますが、関わる予定にしております。内容もですね。そのうちの1名の方につきましては、平泉町にまず会社を自分で興して、そして今、会社と申しますか、リモートワークだったり、地方でも会社を興して、新たなスタートアップ企業等を興すということが非常に増えておりますので、まずは平泉を拠点に会社を興して、そして平泉で新たなビジネスをつくって、将来目標としてはスタートアップ企業として世界を見据えるような会社をどんどんつくっていきたいという方がお一人。それから、残りのお二人については関連性がございまして、2人連携して取り組みをしていくという形になりますが、海外あるいは首都圏の方々との交流ということで、お一方につきましては、カンボジアの大学を設立されたメンバー、創起メンバーの方でございまして、非常にこの教育にたけている方ということで、そういった海外とのパイプも生かしながら、町内で学びのまちをつくっていききたいという方でございます。最後お一人の方については、今のお二人目の方とも連携する形になりますが、付け加えて、都市、東京23区との方のパイプが非常に強い方で、実は今年度も既に新宿区、それから渋谷区との議員さん等との広聴とか含めての懇親の場を設けていただいた方、スパルタキャンプの修了生になりますけれども、そういった首都圏とのパイプ、それから海外とのパイプを生かして、町民の方も含めて町内で学びの場を提供していくというふうな予定になってございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

11番、升沢委員。

11番（升沢博子君）

それでは、49ページ、6目企画費12節委託料の中で、1点目ですけれども、浄土の拠点施設

ということで、これは例年どおり、指定管理料、その他同じようについておりますが、昨年から職員、担当する方も代わられているようなのですけれども、現在、冬期ということで現在の稼働の状況についてお伺いしたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

49ページ、委託料の中の浄土の拠点施設に関わってでございますが、浄土の館の宿泊者、利用者数でございますけれども、今現在、集計が終わっている1月末までということになりますけれども、やはりこれまでも年度ごとに見ますと、冬期間はやはり少なくなるといえるのは、これは傾向としては変わりはありません。今年度4月から1月までの宿泊者数は719人というふうになってございまして、対前年度比で同時期の前年度比で104%ということで微増しているということでございます。

なお、この数字につきましては、コロナ禍前に大分近づいてきております。間もなく到達するかなという水準にまでは回復している状況でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

11番、升沢委員。

11番（升沢博子君）

この施設を使いたいということで連絡を入れた町民が、職員が常駐している状況ではなかったようで、転送をされてつながったというような状況のようですが、その辺はどうなっているのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

予約があったりするときには、当然常駐するようにしてございますが、当然その場で借りるということもできることはなっておりますけれども、これまでの状況を見ますと、そういうものはなかなかなくて、事前に予約をいただいているということでございます。電話転送での対応にはなっておりますけれども、一連の予約を受け付けて、町民の方も利用できるようなはしてございます。ただ、その周知がまだ周知不足のところもありまして、時期は未定なのですが、広報のほうで特集を組んで、例えばその地域の子ども会で活用したり、後は想定されるのは、冠婚葬祭等で今、家に泊まるということも少なくなっているというふう伺っていますので、例えばそういった際の夜の宿泊場所に活用いただくだったりとか、活用方法などもお示しをしながら周知をしていく予定としてございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

11番、升沢委員。

11番（升沢博子君）

やはりいろんな企画を行って、町民も結構足を運んでいた、昨年の10月以前は。そういった

ところも結構ありましたので、今、課長おっしゃられたように、あそこのスペースを町の人たちに使っていただくような、そういう努力は必要なのではないかなというふうに思いますので、ぜひその辺はよろしくお願いしたいと思います。

次に、48ページ、6目企画費の中の7節報償費の中に、ふるさと住民温泉優待券という1万4,000円がついているのですけれども、これはこういった内容のものかお知らせください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

48ページ、7節報償費の中のふるさと住民温泉優待券の内容でございますけれども、今年度から関係人口の方々と継続を維持するために、ふるさと住民票カードというものを発行してございます。この受けた方々の特典として、新年度から町民温泉の無料券、優待券をお配りいたしまして、こちらにおいでにいただいた際に無料で入れるような特典をつけるための優待でございます。

なお、今のところはこの温泉のみの想定となっておりますが、新たに特典として加えられるものも想定してございますので、今後それを検討して、特にスパルタキャンプの修了生百数名いらっしゃいますので、その方々に周知を図りながら、後はふるさと平泉会の方々とかに周知を図って、住民票カードの配布を増やして、特典を活用いただけるように、そして関係人口の維持を図っていきたいと考えております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

11番、升沢委員。

11番（升沢博子君）

それでは次に、50ページなのですが、18節負担金補助及び交付金の中の協働のまちづくり交付金がございます。これ昨年以前は90万円ほどがあったと思うのですけれども、令和5年度実績で86万円ほど使われているようなのですが、今回減額になった理由についてお知らせください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

50ページの18節負担金補助及び交付金の中の協働のまちづくり交付金、委員おっしゃるとおり、今年度90万円から新年度60万円ということで、マックス30万円の補助金ですので、3件から2件ということにしております。これにつきましては、今年度の実績において2件分相当であったことから、当面2件ということにしておりますが、町民の方々の自主的な活動をサポートするものでございますので、活用状況等を見ながら、その後の予算化については検討していきたいというふうに思っております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

11番、升沢委員。

1 1 番（升沢博子君）

まちづくり推進課として、本当に地域おこし協力隊の方たちにいろんな刺激を受けながら、プレーヤーが少ない平泉の町民をそういった刺激を受けながら、でも、やはりまちづくりで頑張るのは町民でありますので、いろんな刺激を受けながら、町の人たちが奮起するような、そのもとになるのはやはりそういった交付金ではないかと思います。継続して事業を同じ団体が続けることは難しいわけで、名前を変えたりとかはやっていると思うのですけれども、その辺を考慮しながら、町民が自ら行えるような、そういったまちづくりに関しての動きという、そこを支援するのは、そこのまちづくり交付金でないかなと思いますので、そこを考えていただきたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

ご指摘のとおりかと思います。これも制度の周知不足というところもあって、数多い団体がどんどん来て、その中で有効に活用していただくということが望ましいというふうに思っております。同じ団体であっても事業が違う場合については該当になりますので、その辺も併せて周知をしながら活用していただくように努めてまいりたいというふうに思います。町内の団体が、特にコロナ禍にあって活動が減ってきたという状況もございましたけれども、こういったもので少しずつ復活をしていくように支援してまいりたいというふうに思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

6 番、三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

2 つほど。1 つは、41 ページでありますけれども、3 節職員手当等の中に会計年度職員の勤勉手当が多分初めてだと思えます。去年、遡及もされたと思うのですが、新年度では初めてだと思えます。これは非常に積極的でいいという考えなのだと思いますけれども、ほかの自治体ではどういうふうになっているのですか、そういった例というのはあるのですか。伺います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

会計年度任用職員の勤勉手当のご質問ですけれども、会計年度任用職員の勤勉手当の支給率につきましては、正職員と同率の支給率を支給してございます。これ全国の市町村の中でも、そのような形で進めるようにということで、国から通達等もございまして、全国一律かどうかにつきましては、詳細は把握してございませんが、平泉町におきましてはそのような処遇というか、そういうような対応をさせていただいてございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

6 番、三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

では、49ページになりますけれども、関連するので一緒でもいいのですが、サーバーの移行というか、データ移行というのがありまして、これ49ページはホームページですけれども、移管業務が38万5,000円、委託料というのがあります。6目企画費の12節委託料ですね。それから、54ページ、第三次システムの間接サーバーの移行作業というの、これ134万円。このサーバーの移管ってこんなにかかるのかなと。数万円というのもあった記憶ありますけれどもね。随分かかり過ぎるなと思うのですけれども。例えばこの第三次のほうでいいのですけれども、実際のぐらいの日数かかるものか。それから、人数的に何人ぐらい対応する業務なのかということ伺いたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

54ページの委託料の中の第三次システム（次期自治体中間サーバー・プラットフォーム）移行作業委託料でございます。これについては、当町のサーバーということではなくて、中間サーバーですので、マイナンバー系統のデータ管理をするJ-LISと言われます全ての自治体で活用する中間サーバー、所在は明らかにされていないサーバーでございますけれども、そのサーバーの入替え作業ということでございまして、これについては、町に国から補助金は来ますが、同額を全てそのJ-LISに交付をして、J-LISのほうで設定をするということでございます。作業期間は、令和8年1月から2月ぐらいに移行するというもので、2か月ぐらいかかるというふうに聞いております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

4番、氷室裕史委員。

4 番（氷室裕史君）

49ページの委託料、総合計画後期基本計画及び総合戦略並びに人口ビジョン策定等業務委託料、これまとめて1,000万円とありますが、それぞれがどれぐらいの額で委託しているのか伺います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

49ページの委託料の中の総合計画後期基本計画及び総合戦略並びに人口ビジョン策定等業務委託料1,000万でございますが、これは分けておりません。このままでございまして、といいますのも、総合戦略も人口ビジョンもその庁内の現状調査であったりというのは非常に全てに活用できるものでございますので、業務としては一体として調査活動を行っていただいて、その調査を基にそれぞれの計画を策定していくということでございまして、効率的にも費用的にもまとめたほうが効果が上がるということで、新年度においてはまとめて業務委託をする形となります。

予算特別委員長（千葉勝男君）

4 番、氷室裕史委員。

4 番（氷室裕史君）

令和2年のを見ると、どうやら戦略と分けていたので、聞いてみました。

その委託先の選定というのはどのように行っていますか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

新年度において、入札もしくはプロポーザル、今の予定ではプロポーザルをして、業者の提案を受けた形で随意契約をとということで想定をしております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7 番、真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

45ページの3目財産管理費の中の12節委託料、ふるさと納税推進業務委託料でありますけれども、このふるさと応援寄附金の町の収入分というのは、委託料、手数料総額を含めて50%以上を目標としなければいけないとされておるわけですが、かなり今回高額な委託料が発生している中で、その配分といいますか、その比率的にはクリアできる比率になるのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

予算書45ページ、財産管理費のふるさと納税推進業務委託料3,021万5,000円となって、前年度より大幅に伸びているということに関しまして、今の50%のルール、50%の中でのチェックというのがされた中で、今回予算が整理させていただいたのが、通常ですと、返礼品等は報償費でこれまで見ておりましたが、そこを委託事業者はその返礼品分を含めた形で、つまりは生産者とか事業者、返礼品の提供者の調整役として、その部分も含めまして、それをこちらでしっかりとチェックを行いながら、この委託料の中に含める形で今回計上させておまして、その積算基礎となりますのは、寄附の目標額8,000万円に対する算定というふうになってございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7 番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

もう一点伺っておきますが、53ページのDXに関する点だと思いますが、9目情報化推進整備費の中の12節委託料のデジタル基盤整備委託料であります。今年度の整備の概況についてお知らせください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

今年度につきましては、教育委員会の電子黒板のほうの整備であったり、後はホームページのサーバー更新等で行われておりまして、令和7年度については標準化システム、全国一律で行われるシステムの標準化・共通化、そちらに係る経費となっております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

1 番、小埜寺享委員。

1 番（小埜寺享君）

1 っだけお聞きします。

49ページの2 款総務費、1 項総務管理費、6 目企画費、12 節の委託料の中の旅行手配業務委託費なのですが、これはドイツ訪問に対する委託費と考えてよろしいですか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

49ページの委託料の中の旅行手配業務委託費でございますが、委員のご指摘のとおりでございます。ドイツに行くための旅行手配ということになります。今回あちらからの招待の中に若い世代、そして特にその郷土芸能に携わっている方の出演を依頼されておりますので、町民の方数名を一緒にお連れするという予定にしております。その町民の方々が行く分の手配の業務委託料ということでございまして、航空券であったりとか、現地の宿泊費、現地の車での移動であるとか、そういったものが入ったものでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

それでは、ないようですので、ここで休憩いたします。

休憩 午後 0 時 0 1 分

再開 午後 1 時 0 0 分

予算特別委員長（千葉勝男君）

再開します。

先ほどの真簾委員からの質疑に対し、岩渕総務課長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

先ほどの真簾委員のご質問36ページ、4 節雑入の物件移転補償金727万1,000円の内容でございますけれども、主要地方道一関北上線改良に伴う移転補償となりまして、看板の移転補償につきまして、長島体育館の案内看板と街灯についての移転、それから、緊急避難所としての看板の移転、そして、長島保育所の遊具、フェンス等の、こちらについては物件補償ということ

で、新たにというようなところの補償でございます。

さらに、もう一つ、歳出のほうのメインの答弁の中に誤りがございましたので、訂正させていただきますというふうに思います。

歳出の先ほどのご質問でいきますと、53ページ、9目情報化推進整備費12節委託料のデジタル基盤整備委託料4,366万円につきまして、令和6年度の状況ということでしたけれども、私、先ほど申し上げたデジタル化の事業につきましては、デジタル田園都市国家構想交付金を活用しての事業でございまして、それが学校への電子黒板とホームページの更新、それから保育所、幼稚園等に配置になっているICT業務支援システム、そのことを申し上げました。

ここで記載されているデジタル基盤整備委託料につきましては、こちら今年度の予算と同じですが、自治体情報システムの標準化、共通化に伴う予算ということございまして、本年度につきましては、文字同定といいまして、住基文字と文字情報基盤文字を同定させるというような委託を行っておりまして、それが73万7,000円、そして、システム標準化に伴う計画を策定しなければいけませんでして、この計画策定の委託料、これが324万5,000円、昨年度の当初予算が384万6,000円でしたが、6月補正を経て、403万1,000円の予算のうち、所要の額を合わせまして、現在のところ398万2,000円というような形での委託を行っているというような状況でございます。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

真竈委員、よろしいですか。

7 番（真竈光幸君）

はい。

予算特別委員長（千葉勝男君）

次に、55ページから65ページの2款総務費のうち、2項徴税費、3項戸籍住民基本台帳費、4項選挙費、5項統計調査費、6項監査委員費についてご発言を願います。

6 番、三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

57ページの2目賦課徴収費の11節役務費です。ここに限らずですけれども、中でも通信運搬費なのですが、郵便料金が上がって、今、50グラムまで110円だと思うのですが、この負担というのは大きいのではないのかなと思うのです。それで、この間、全体としてどのぐらいこの負担って増えているか分かりましたらお願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

賦課徴収費の中で、役務費、通信運搬費についてでございますが、郵送料の引上げに伴ってというようなところでございますが、ちょっと全体として把握しているものはございませんけれども、督促状の発送や、それから催告書の発送等々、必要な部分を計上させていただいて、

188万4,000円というようなところで当初の予算で計上させていただいてございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

2 番、千葉委員。

2 番（千葉多嘉男君）

58ページの2款2項2目22節の償還金利子及び割引料の過誤納税返還金200万円とありますが、
これの積算内容についてお知らせ願います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

22節償還金利子及び割引料過誤納税返還金200万円というようなところでございますが、こちらについては、3年間の平均を確認いたしまして、それにプラスというようなところで例年並みで計算をさせていただいております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

2 番、千葉委員。

2 番（千葉多嘉男君）

3年間、毎年200万円ということですが、その3年間の平均というのもちょっと一応私も調べてみたのですが、令和3年が120万円、令和4年が110万円、令和5年が39万円、これは決算ベースですが、それを割ると平均すると200万円にはならないと思うのですが、その辺はどうでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

令和6年につきましては、鉄軌道用地の償還などもございましたし、6年度のこれまでの実績の部分も加味しますと、平均のところは100万円を超しているというところがございますので、予備的な部分も加えさせていただいて200万円というような予算額を計上してございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

5 番、阿部圭二委員。

5 番（阿部圭二君）

57ページ、12節委託料の中の、標準宅地価格評価業務委託料1,020万7,000円、これが上がっているのですが、なぜ上がったのかについてお示してください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

標準宅地価格評価業務委託料でございますが、こちらは令和9年の評価替えに向けてという

ようなことの作業となります。1年目、令和6年につきましては、土地の評価、収集、基礎資料作成、用途地区、状況類似地区の設定などというところで予算化をさせていただいて418万円ということでございましたが、令和7年の予算につきましては、基準宅地の設定、路線敷設というようなところと、個性資産税土地の評価業務、標準宅地の鑑定評価業務というような業務の内容を見込んで1,020万7,000円というような予算を計上させていただいてございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

それでは、進行の声がありますので進行します。

次に、66ページから78ページの3款民生費についてご発言願います。

7番、真竈委員。

7番（真竈光幸君）

68ページの3款民生費であります。1目社会福祉総務費、18節の負担金補助及び交付金について伺いますが、この社会福祉協議会の事務局長設置事業補助金というこの項目は、この事業名はもう既に達せされている関係上、事業名をこのままで継続して今後とも予算化するのか伺います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

68ページの社会福祉協議会の事務局長設置事業補助金の事業名称というところのご質問というところではございましたが、確かに事務局長のほうを設置というところでは、事務局長はいらっしゃいますので設置というところではございますけれども、引き続きこの事業名で事務局長の給与、賞与等の補助を出していきたいというところではございました。

予算特別委員長（千葉勝男君）

よろしいですか。

ほかに。

2番、千葉多嘉男委員。

2番（千葉多嘉男君）

66ページの3款1項1目社会福祉総務費の7節の報償費ですが、災害時要援護者支援プラン策定委員報償費でございますが、支援プランの策定の進捗状況についてお伺いします。

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

66ページの報償費、災害時要援護者支援プラン策定委員会報償費でございますが、予算の部分にしましては、会員の報償費という内容でございます。

それから、委員からご質問ございましたプランの策定状況でございますが、令和5年度の8

件というところでございました。それから令和6年度につきましては、今、各行政区のほうにお願いしてきておりまして、まだ実績としては上がってございせんが、今月末までには数件策定をしていただけるような見込みで進めてございます。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございせんか。

7番、真竈委員。

7番（真竈光幸君）

70ページの3目老人福祉費の中の7節報償費の中の敬老会の報償物品について伺いますが、今年度の対象者何名になるか教えていただきたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

ただいまご質問のありました7報償費敬老会の報償物品の関係で、対象者ということでございましたが、令和6年度につきましては、80歳以上の方1,050名が対象となっております。令和7年度につきましては、手元に資料がございせんので、令和6年度につきましては、1,050名ということになっております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

6番、三枚山委員。

6番（三枚山光裕君）

70ページの12節委託料、敬老会バス運行委託料なのですが、前年度272万円から159万円に減って、今、バスもなかなか確保が大変だとか、運転手とかあって、中学生の冬季スクールバスも直営というのですか、レンタ借りてやっているわけですがけれども、見積りもいろいろあったか分かりせんけれども、なぜ安くできたのかなという点です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

12節委託料、敬老会バス運行委託料についてですが、こちらはコストの点で見直しをするというところで、バス運行委託ではなく、13節使用料及び賃借料のところ、送迎バス借り上げ料というのがあるのですけれども、バスを借り上げてドライバーにつきましては町で確保するというところで考えてございます。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございせんか。

2番、千葉多嘉男委員。

2番（千葉多嘉男君）

73ページの3款2項1目児童福祉総務費、12節の子育て世帯訪問支援業務委託料49万5,000円の委託内容について伺います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

事業の積算内容でございますが、この支援分として、まず基本部分として、この事業は社会福祉協議会に委託して実際今年度やっているところですが、来年度もそのような予定で考えておりまして、その部分の基本分というのが1時間当たり3,000円ということで、その10人のそれから8時間と。1回当たり2時間ということになりますので、そういった部分で4回分を取っております。

それから、同じく加算分というのがございまして、これは送迎部分を含めまして1,860円の10人掛ける4回分ということと、それから事務費と管理費分ということで、毎月、社会福祉協議会のほうに1万5,000円を事務管理費ということで計上させていただいた合計額が49万5,000円ということになっております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉委員。

2 番（千葉多嘉男君）

この委託ですけれども、事業を利用する方に対して、この事業の収支についてはどのように行うか伺います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

この事業につきましては、どなたでもというふうなところではございません。まずは支援を必要とする場合、1つは児童虐待防止というところが大きな目的になっております。ただ、直に虐待ということではなくて、一般質問でもありましたが、例えば妊婦さんが家事などをするときに、負担になると、育児も含めて負担になるといった妊産婦や、ヤングケアラーへの対応も含めた事業になっておりまして、そういった部分で広く周知するというのが難しいところもございます。ですので、まずは様々な相談がある中で、この事業を必要とするかどうかということを、個別に対象者に対して周知を図っていくということと、一方では、広くというわけではないですが、そういった状況を踏まえた中で、広報等を活用しながら周知も図っていきたいというふうに考えております。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

次、77ページの4目児童福祉施設費、14節工事請負費ですが、この中で、長島保育所園庭築

山等移設工事費、長島保育所園庭遊具等設置工事費、それぞれ工事費上げておりますけれども、その内容についてお伺いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺長島保育所長。

長島保育所長（小野寺崇君）

77ページ、14節の工事請負費についてでございますけれども、先ほど歳入の際に物件移転補償というお話がありましたけれども、主要地方道一関北上線の改良工事に伴いまして、先行して県道相川平泉線の拡張工事が令和7年度に着手が予定されているということで、それに伴いまいして、園庭の一部が道路用地となる予定となっているところでございます。

それに伴いまして、道路用地となる部分に長島保育所にある築山、それから遊具等が設置されておまして、それらを移転する必要があるということでの予算計上となっています。

なお、令和7年度の県工事については、現時点での予定でありますことから、県から示されている補償物件とか、補償費については決定されているものではございませんので、現時点での概算ということで示されているものでありますので、今後、精算必要になるものというふうに考えております。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

2番、千葉委員。

2番（千葉多嘉男君）

その道路用地に保育所の園庭だと思うのですけれども、道路用地に係る面積はどのくらいなっていますでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺長島保育所長。

長島保育所長（小野寺崇君）

現在の長島保育所の屋外遊戯場、いわゆる園庭ですけれども、1,757.6平方メートルございますが、今回、今現時点での概要の中では、そのうち150から200平米程度面積が減ることになる計画でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

2番、千葉委員。

2番（千葉多嘉男君）

その150平米が用地買収されるということでございますが、それに伴いまして、園庭が狭くなると思われるのです。狭くなったことによりまして、園児たちへの園の活動について支障が出ると思いますが、その辺はどういうふうにお考えでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺長島保育所長。

長島保育所長（小野寺崇君）

おっしゃるとおり、園庭が狭くなるということになりますけれども、現在設置されている遊具、築山等についての移設の際に、築山の規模だとか大きさ、あとは遊具につきましても、現在設置されている遊具がコンビネーション遊具という形のものが設置されているわけですが、このコンビネーション遊具というのが、滑り台とかうんていとかが一体となった遊具でかなり大きな面積を取っているということがありまして、今度その工事が着工される場合に、新設する遊具につきましては、機能を分散させたものを1か所ではなく園庭の状況を見ながら配置をして、できるだけ多くの園庭確保に努めていきたいというふうに考えています。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

3番、大友委員。

3番（大友仁子君）

初めに、67ページの11節の役務費なのですが、ガバメントクラウドサービス利用料95万円ありますが、この内容についてお知らせください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

67ページの11節役務費のガバメントクラウドサービス利用料につきましてですが、こちらは障害福祉のシステムの標準化に伴うクラウドサービスの利用料というところでございます。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

3番、大友委員。

3番（大友仁子君）

次に、73ページの12節委託料で、子育て短期支援事業委託料12万9,000円、この内容についてお知らせください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

若干お待ちください。

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

大変申し訳ございませんでした。

子育て短期支援事業でございますが、これにつきましては、実は事業の内容としては2種類ございまして、1つは短期入所生活援助ということで、ショートステイ事業と。これにつきましては、保護者の疾病や仕事等の理由により児童の養育が一般的に困難となった場合にとか、育児不安や育児疲れ、慢性の疾患などがあった場合に、一時的に預ける施設がございます。

もう一点が、トワイライトステイということで、保護者が仕事、その他の理由に平日の夜間または休日に不在となる場合に、施設に預けることができるといった事業でございます。

子育て短期支援事業というふうなことでその2種類ですが、委託しているのがふじの園と盛

岡市の赤十字病院で受入れをしていただくということで、1回当たりショートステイの場合には1万7,000円というふうなことでございまして、その1年分の予算を計上しておりますが、実際それを利用したというふうな実績はございません。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

3番、大友委員。

3 番（大友仁子君）

それは、保護者さんの対象なのですね。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

その施設に入所するのはお子さんがということになります。保護者ではなくて、お子さんを預ける場合への支援事業ということになります。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

3番、大友委員。

3 番（大友仁子君）

18節の負担金補助及び交付金で子育て応援在宅育児支援金180万円のこの内容についてお願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

この事業の内容につきましては、生後2か月から3歳未満の第2子以降の子育てをする、養育する世帯へ支援するものでございますが、いわゆる在宅支援ということになります。対象者は現時点で見込みですが15名ほどいると。これに対して、1か月当たり1万円を支援するというふうな内容になっております。

これは、実績として今年度もやっておりますが、大体そのぐらいの人数が在宅で保育をしているというようなことになっております。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

いいですか。

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

それでは、次に、78ページから84ページの4款衛生費についてご発言願います。

6番、三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

84ページです。

4 款衛生費の 2 項 1 目 18 節負担金補助及び交付金、広域行政組合の負担金なのですが、新しい焼却施設の関係でいうと、令和 7 年度からこの負担分が出てくるとのことなのですが、これ 1 億 4,800 万円のほうに係るところなのか、幾らかという点、まずその点、お願いいたします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

84 ページの負担金補助及び交付金の部分の一関地区広域行政組合分担金のところでございますけれども、分担金につきましては、通常の総務費、あとは火葬場、ごみ処理、し尿処理といった部分の分担金の内容になってございます。

それから、その下の負担金でございますが、3,066 万 4,000 円、こちらが整備費ということで、今、進めております整備事業の費用の負担金というふうな内容になってございます。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

6 番、三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

すみません、聞き忘れ、金額答弁ありましたか。幾らかという、そのうち焼却炉に関わる。

予算特別委員長（千葉勝男君）

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

ごみ処理費の部分に関しましてですが、分担金の 1 億 4,878 万 4,000 円のうち、ごみ処理費の部分に関しましては、1 億 1,114 万 9,000 円というような内容になってございます。

6 番（三枚山光裕君）

焼却炉、焼却炉に係る負担。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

整備費ということでよろしいでしょうか。

施設の整備費に関しましては、繰り返しになりますけれども、分担金のほうには含まれておりませんで、負担金のほうでございまして、この 3,048 万 8,000 円が今の処理費、整備費でございまして。残額の 17 万 6,000 円は公債費ということで過年度に支出した部分への負担金ということでございますので、そういった中身になってございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

6 番、三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

その下の、有価物集団回収事業助成の 10 万円なのですが、ずっと決算額で 2 万円とか

そういうことがありました。確かに令和５年６万４,０００円ほどなっているのですが、１０万にした根拠は何かということです。

予算特別委員長（千葉勝男君）

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

実績の部分に関しましては、委員のおっしゃるとおりでございますけれども、予算措置としては１０万円ということで、こちらの回収事業を積極的に進めてまいりたいところでございまして、１０万円の予算を計上をさせていただいてございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

５番、阿部委員。

５ 番（阿部圭二君）

８１ページ、１２節委託料の中の個別予防接種委託料２,８２１万４,０００円、内容をお示してください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

こちらの１２節委託料、個別予防接種委託料につきましては、お子さんの分の予防接種、それから、高齢者の方の予防接種ということで合わせて計上になっていたかと思われます。

具体的な内容もお伝えしたほうがよろしいでしょうか。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行の声がございます。進行します。

次に、８５ページの５款労働費についてご発言願います。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行の声がございます。進行します。

次に、８５ページから９３ページの６款農林水産業費についてご発言願います。

１番、小埜寺委員。

１ 番（小埜寺享君）

８９ページの６款１項農業費の３目、１８節の新規就農者育成総合対策事業補助金の２６２万５,０００円の事業内容を教えていただきたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

89ページ、18節の負担金補助及び交付金の中の新規就農者育成総合対策支援事業でございますけれども、これは国の事業でございますして、新規就農で経営開始される方について定額補助される部分でございますして、この補助金につきましては2名の方を予定しております。

1名の方は令和4年10月から開始されているわけですが、その方の分が6か月分、令和7年9月で終了しますので6か月分、その方は、当初はお一人で経営開始資金受けておりましたけれども、昨年の10月から配偶者の方も一緒に認定になりまして、夫婦型ということで認定となっておりますので、その方の分が月額18万7,500円、これの6か月分になります。もう一人の方につきましては、本年4月からの予定でございますけれども、平泉地区にUターンされてきた方が、この事業を活用して水稻、それから園芸作物をやりたいというようなことで予算計上をしております。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

6番、三枚山委員。

6番（三枚山光裕君）

同じ89ページなのですが、18節負担金補助及び交付金のところのグリーンツーリズムのところ、それから民泊、2つありますけれども、今、この現状と展望といいますか、課題というようなところで、どういうふうに捉えているか伺いたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

こちら89ページのグリーンツーリズム推進事業補助金の10万円ですが、町のグリーンツーリズム推進協議会という協議会ございまして、そちらのほうの活動に対しての10万円でございます。

活動としましては、中学校等の教育旅行の際に宿泊等とか農作業体験とか、そういったものをしていただく方々でございますけれども、そちらのほうの活動に対する補助金でございます。

それから、その下の農家民泊開業等支援事業補助金3万円ですが、こちらにつきましては、農家民泊等を開業する際に、例えばバリアフリーにするですとか、トイレを水洗化するですとか、そういった事業に対しての補助金で、補助率は2分の1で上限が50万円となっておりますけれども、こちらにつきましては、今までのところは活用実績というところはございません。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

同じく89ページの18節について、別項目でお伺いしますが、束稲山麓地域の農業遺産推進協議会の負担割合です、2市1町の負担割合を教えてください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

89ページの束稲山麓地域農業推進協議会の負担金77万円の負担割合でございますけれども、県とそれから奥州市、一関市、平泉町で負担しているわけでございますけれども、総額400万円に對しまして、県が2分の1、それから奥州市、一関市、平泉町が6分の1ずつということで、奥州市、一関市、平泉町は77万7,000円ずつというような負担割合でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

では、もう一項目の営農継続農業機械支援事業補助金の金額であります、令和6年度の実績数は何人で、現行、それから申込みをもうされておる、100万円増額になっておりますけれども、その目安として何人ぐらいになるかの数字をお知らせください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

営農継続農業機械導入支援事業補助金の令和6年度の実績でございますけれども、現在のところ28件ほどの申請ございまして、残が2万、3万円というような状況でございます。

令和7年度につきましては、当初予算で300万円というふうに見ております。件数につきましては、大体20件程度かなというふうに、現在、当初予算の段階ではそういう状況で予算組んでおります。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

令和6年度の予算が2、3万円ぐらいしかもう残がないと。金額的に令和7年度へ繰越しする方もいらっしゃるわけですが、その方というのは何人ぐらいいらっしゃるのですか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

令和6年度に申請来た段階で予算がなくなったということで、待機者ということでございまして、現在9名ほどの待機者がいるというところでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

91ページの5目農地費についてお伺いしますが、18節の負担金補助及び交付金であります、農村地域防災減災事業負担金ありますが、この事業の中身について詳細を説明をお願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

こちら県営事業の負担金になりますけれども、北照井堰の用水の修繕工事というところでございます。一関市から平泉町にまたがって照井堰があるのですけれども、その工事を現在のところは上平泉から6区の辺り、その辺の工事をやっております。

今後、令和14年までの計画でございます。中尊寺の下のところまでの工事というふうになっております。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

11番、升沢委員。

1 1 番（升沢博子君）

89ページ、3目農業振興費の18節負担金補助及び交付金のところ、先ほど同僚議員の質問にもあった平泉町グリーンツーリズムの10万円なのですが、この項目の中に関連して、前年から消えているライスアートというところがなくなっておりますが、そのグリーンツーのところで農業体験としてそういったライスアート、そういったところを利用しながら受入れをしてきたところなのですけれども、今後そういう取り組みはないと思ってよろしいのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

過去、農作業体験ということでライスアート事業を活用してきたわけですが、ライスアート事業を行っている団体におきまして、人手不足ということで、その事業展開することが難しいということでございました。代わりということではないのですけれども、町内の農家の方の田んぼをお借りして田植え作業を今後行っていきたいというふうに考えております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

11番、升沢委員。

1 1 番（升沢博子君）

今、課長おっしゃるように昨年は会員の圃場を借りて体験をしてもらったという経緯がありました。グリーンツー協議会自体も全体的になかなか新たに入ってくる方がなく高齢化も進んでおりますので、そういったところも今後どういうふうを考えていらっしゃるかお聞きしたいところなのですけれども、今後について。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

協議会等で話し合いをしていかなければいけないというふうに感じております。隣の奥州グリーンツーリズム推進協議会が解散しておりますけれども、その中でも、衣川地区ですとか前沢地区の方でぜひ続けたいのだという農家もおりますので、今後ですけれども、そういう方々も一緒に取り組んでいけないかというようなところを、協議会のほうで諮っていきたいというふうに考えております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

5 番、阿部圭二委員。

5 番（阿部圭二君）

92ページ、2 目12節委託料の中の西行桜の森整備業務委託料ですけれども、昨年度より高くなっていますけれども、内容をお示してください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

92ページの12節委託料の中の西行桜の森整備業務委託料843万7,000円、こちらでございますけれども、まずは、県行造林伐採したところになるのですけれども、その桜の植栽時の下刈り業務委託が260万円ほど、それから桜植栽時の地ごしらえ処理業務が275万円ほど、そして桜の植栽業務委託が117万円ほどというようなところで、前年に比べますと増えているというような状況でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

1 番、小埜寺委員。

1 番（小埜寺亨君）

89ページの6 款農林水産業費の1 項農業費の3 目農業振興費の18節になりますけれども、その中の新規作物導入支援事業補助金ですけれども、ちなみに令和6 年度何名の方が申請されたか教えていただけますか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

大変申し訳ございません、資料を持ち合わせておりませんので、後刻の答弁とさせていただきますと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

後刻ということをお願いします。

ほかにございませんか。

6 番、三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

90ページです。18節負担金補助及び交付金ですけれども、須川牧場利用促進事業補助金についてです。減りました。前年度と比べて半分近くに減って、実際令和5年度なのですけれども、11万円の決算だと思いますし、それから、繁殖牛生産振興対策事業費補助金も145万円から100万円に今度減ったということで、これも半分ぐらい、予算の半分ぐらいしか使われないというか、45万円だね。

そういう点で、まず1つは、本当に振興を図らなければ、町でも必要な位置づけにしています。1つは担い手といいますか、若い人はいるのか、現状どうなっているのか伺いたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

若い方というところでございますけれども、町内で繁殖農家の中で、40代の方は1名おります。残りは60代以上というようなところでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

よろしいですか。

6番、三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

91ページです。5目18節負担金補助及び交付金ですけれども、小規模基盤整備事業補助金、農業の懇談会などでもいろいろPRはしているようですけれども、多分令和5年の実績はないと思うのですが、これは近年といいますか、ここ何年かで利用はあるのかということですが、いかがでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

たしか令和4年度に1件ほど活用はございましたけれども、そのほかの年度については、活用はなかったという状況でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行の声がありますので進行します。

次に、94ページから98ページの7款商工費についてご発言願います。

9番、佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

97ページの4目観光振興費についてですが、数字とはあまり関係ないのですが、昨年11月に

ガイド事務所が事務所を閉めたというお話を聞いております。この理由をまず聞きたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

昨年、令和6年11月に中尊寺のガイド事務所が終了したということの件だと思うのですが、こちら直接町のほうにはそういった報告はないのですが、観光協会等を通じて、あと中尊寺から連絡をいただいていたところでございます。

詳しい事情というのはいろいろあると思うのですが、向井さんという代表の方がいるのですが、その方と7人ぐらいでやっていたということで、代表の方も従業員の方も高齢化ってきているというようなところもございました。50代ぐらいの方が1名いたということで、その方は何とか続けたいという意味はあったのですが、どうしてもガイドのほうも忙しくて、ガイド業務と事務の業務を両立していくのが大変だというようなところも聞いております。

それで、50代の方は携わっていきたいということで、今、中尊寺さんと協議をしていると思うのですが、何とか中尊寺で雇用というか、そういうような形で雇いたいという話は聞いておりますが、まだ結果は聞いておりません。そういった理由で11月に閉鎖したということを知っております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

9番、佐藤委員。

9番（佐藤孝悟君）

そうしますと、現在古都ひらいずみガイドの会がございます。この前エピカで講習をやったという話を聞いております。少なくとも10名ぐらいは補充しなければならないという気持ちもございます。

町のPRとして、そのフォローも必要だと思います。そういう意味で、今後どのような形にしていくのかという話は聞いておりますか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

ご存じのとおり、今、古都ひらいずみガイドの会、1者になっております。それで、先日、新年会というか交流会もあって、いろいろ情報交換をさせていただいたのですが、教育旅行のほうの来年、既に6月とかはいっぱいになって、もう受入れできないというような状況でございます。

それで、委員おっしゃるとおり、3月3日から今月1週間ほどかけて養成講座を開くということで、当初4名か5名ぐらいしか申込みないと観光協会の総会の際に私にお話がありまして、町としても周知できないかということで、急遽でありましたけれども、町の公式LINE

で呼びかけをして、何とか10名ぐらいになったというふうに聞いております。いずれ町としてもそういった形でフォローはしておりますし、補助金というような形で、予算にもありますけれども支援をしているところでございます。

養成講座のほうは、観光協会、両山とか、私も講義を来週していきますけれども、いろんな方が携わって、いろんな角度からそういった養成をしていくということで、講義を恐らく数十名、20人ぐらいの方ですかね、講師依頼していると思うのですけれども、そういった形で町でもフォローしているというような状況でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

9 番、佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

中尊寺のガイドさんは、1日に3回、4回、多いときそれぐらい中尊寺の坂を、上ったり下ったりするわけなので、古都ひらいずみガイドの会でやるという形になるとやっぱり大変だと思います。大変だけれども、サービスのためにやってほしいという部分があると思いますので、町としてのフォローをいろいろと考えてやらなきゃいけないのではないかと、そのように思います。ですので、これからに関しましては、古都ひらいずみガイドの会しかないということを考えますと、平泉をPRする意味でしっかりとガイド養成をしていただきたい、そのように思います。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

お答えは要りませんか。

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

いずれ繰り返しになりますけれども、しっかりと常に事務局長なり会長も役場に来ておりますし、私も出張とか時間を見て事務所に顔を出しております。そこで要望とか、いろんなこういうことをしてくれないかとあります。そこはしっかりと連携しておりますので、今後も引き続きやっていきたいというふうに思っております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

2 番、千葉委員。

2 番（千葉多嘉男君）

96ページの7款1項4目観光振興費の1節の報酬でございます。国際交流員報酬402万円について、内容についてお伺いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

96ページの1節報酬402万円、これは国際交流員の報酬になりますが、これまで令和4年まで

の5年間、アラスカ出身のサムが5年間勤めておりましたし、翌年令和5年から1年間は、中国出身の曲さんが国際交流員としてお勤めいただきました。令和6年は不在となっておりますけれども、令和7年に向けて派遣元でありますJETプログラムのほうに町として申込みをしておりました。

昨年末ですけれども、正式に1名中国から派遣したいということで来ておりまして、令和7年からは同じく中国から1名内定をしております。先日本人ともメールなり、あとはリモートでの打合せをしたところでございます。予定としましては、4月6日に来日、東京に行って、盛岡に1回行き、4月9日の夕方でありますけれども来町するということになっております。それで4月10日の予定ですが、初登庁いただいて辞令交付式というふうな予定となっております。今の中国の貴州省出身で、広東省に在住の韓月月さんという、韓というのは韓国の韓です。あと月は月月と書いて韓月月さんという女性の方を内定しているところでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

2番、千葉委員。

2番（千葉多嘉男君）

その交流員ですけれども、任期は何年になっていますでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

任期につきましては1年更新、基本1年になりますけれども、3年になりますけれども、サムのおきもでありましたが、最長5年就任できるということになっております。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

2番、千葉委員。

2番（千葉多嘉男君）

別件ですけれども、97ページの同じく18節の中の世界遺産連携推進実行委員会負担金400万円ありますけれども、この内容についてお知らせ願います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

97ページの18節負担金補助及び交付金の世界遺産連携推進実行委員会負担金の400万円でございますけれども、これにつきましては、町と県南局と一関市、奥州市の行政と商工会と観光関係の協議会になりますが、令和7年度につきましては、いずれ大きく分けて3つの事業を予定しております。

観光コンテンツ魅力向上周遊促進事業ということで、広域の周遊観光の事業、教育旅行のコンテンツの展開していく事業、観光客おもてなしセミナーということで予定しております。

2つ目として、国内の主要市場誘客事業ということで、いろんなイベントを活用したPR事

業をしていきますし、あと大きなところで、世界遺産平泉魅力発信事業ということで毎年行っているのですが、来年度につきましては、仮称ではありますが平泉世界遺産祭2025ということで予定しております。これは令和8年の世界遺産15周年のプレイベントということで、今、企画をしております。日にちにつきましても、8月30日土曜日から31日日曜日予定しております、場所につきましてもいろいろ検討はしたのですが、最終的に平泉スマートインターチェンジの駐車場を利用すると。観自在王院跡のほうも検討はしたのですが、どうしても席の関係とか、配置の関係もありますし、一番駐車場の関係ありますので、向こうのスマートインターチェンジを利用すると。そしてシャトルバスも運行するというようなところで、今、計画をしております。

中身については、まだいろいろとイベント会社とも話はしておりますけれども、そこはまだ紹介できませんので、そういったことで予定しているところでございます。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

3番、大友委員。

3番（大友仁子君）

先ほどの国際交流員の方なのですが、中国人ということで、ふだんどこに行ってどのような仕事をするのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

国際交流員の職務、事業内容でございますが、多岐にわたるのですが、ウェブとかSNSの海外への発信ですとか、インバウンド向けの観光PR活動、町の観光物や事業の翻訳業務、これは商工会やいろんな観光施設の翻訳業務も含まれます。

あと町の国際交流事業における支援というようにところも行っており、町民観光、商工事業者向けの中国語講座の企画や講師も行います。ほか事業者への多言語支援ということで、ホームページであったり、メニュー、ポップなどの英語翻訳というようにところ、小中学校向けの中国語講座の企画等も、今、考えております。

あと在町外国人も外国人登録している方も結構いるわけではありますが、その方のいろんな交流ですとか、そういうのも企画、新しく事業として展開をしたいというふうに考えております。

観光イベント時の外国人対応ですとか、あと古都ひらいずみガイドの会に、これまで月曜日、金曜日が電車で来る外国人が多いということで、週に2回ガイドの会の事務所に常駐しておりますが、これらの業務を見ながらガイドの会には基本は月、金になると思うのですが、状況を見ながらガイドの会の対応はしたいというふうに考えております。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

3番、大友委員。

3 番（大友仁子君）

分かりました。

それと、96ページの12節委託料ですが、平泉観光PR動画制作業務委託料、この詳細について伺います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

96ページの12委託料の平泉観光PR動画制作業務委託料225万円、これ新規になりますが、今現在観光商工課で活用している動画なのですが、平成28年度に作成したものということで、9年ぐらい前になり、大分資料も古くなっているということもございます。最近の映像の技術もかなり進展しておりまして、もともとは内容が古いということもあるのですが、そういった理由もありまして、今回新しくするものでございます。

今後、世界遺産登録15周年ですとか、中尊寺落慶供養900年、藤原清衡公の御遠忌900年ということで続きますので、それらの対応できるようなPR動画を新しくリニューアルするというところでございます。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

3番、大友委員。

3 番（大友仁子君）

もう一つ伺います。

95ページになります。7款1項2目18節負担金補助及び交付金の部分なのですが、魅力あふれる商店づくり支援事業補助金30万円、これ昨年度からの事業で、昨年度お聞きしたとき5店舗ということで、成果について伺います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

95ページの18節負担金補助及び交付金の魅力あふれる商店づくり支援事業補助金30万円であります。これの成果ということでございますけれども、昨年は5店舗参加いただいたということであります。今年で3年目の事業になります。内容につきましては、首都圏のほうから経営とか商店の営業に詳しい、非常に精通している方をお呼びしてやるものでございます。

これにつきましては、町で補助金を出して実施主体は商工会になりますが、3年実施しているものであります。参加した事業所、商店の方で1回参加した方はずっと参加しているということでございます。その先生の話も非常にためになるということと、実際お店に行って、陳列とかポップのちょっとした違いで実際売上が上がっているという、非常に店からそういう声が挙がっています。例えば家族経営しているところなどは、夫婦でやっている方、家族でやっている方もあるのですが、非常にコミュニケーションが取れ、非常に働きがいがあるとい

うようなことで本当に喜ばれている事業でございます。何店舗参加しても事業費の補助金は一緒なので、多くの方に参加いただいて、夜だと講習会等もございますので、多くの方に町も紹介呼びかけているのですが、なかなか日中ですとか夜も都合つかないということで5店舗になりました。新年度につきましても広く呼びかけて、このいい事業というのをPRしていきたいというふうに考えております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

それでは、8番、高橋伸二委員。

8 番（高橋伸二君）

たくさんお聞きしたいことがあるのですが、このまま続けますか、一旦休憩しますか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

長いですか。

8 番（高橋伸二君）

長いです。

予算特別委員長（千葉勝男君）

休憩します。

休憩 午後 2時05分

再開 午後 2時22分

予算特別委員長（千葉勝男君）

再開いたします。

先ほどの小埜寺委員及び三枚山委員からの質疑に対して、佐々木農林振興課長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

予算特別委員長（千葉勝男君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

先ほど小埜寺委員からのご質問で後刻の答弁としておりました分についてお答えいたしたいと思います。

89ページ、3目農業振興費の18節負担金補助金及び交付金の中の新規作物導入支援事業の実績というところでございますけれども、令和5年度が4件でございます、令和6年度も今のところ4件というふうになっております。

それから、三枚山委員から、90ページの4目18節の繁殖牛生産振興対策事業補助金のところで、若い畜産農家の方々は何名かという質問に対し、40代の方1名というふうに答弁をしておりましたけれども、年齢は定かでございますけれども、40代、50代の方2名となります。お詫びをして訂正をさせていただきます。申し訳ございませんでした。

予算特別委員長（千葉勝男君）

8 番、高橋伸二委員。

8 番（高橋伸二君）

予算審査特別委員長から、議事進行に特段協力を願うと、こういうお話がございましたので、14項目ほど確認をしたいことがあったのですが、今日はずっと絞りまして、総括討議の中で使わせていただきたいと思います。

まず、97ページの4目観光振興費、18節の負担金補助及び交付金の関係です、皆さんお話しになっている項目ですが、その中でも、一般社団法人平泉観光協会に対する運営費補助と事業費補助について何うものです。

まず、1つ目に、先ほど観光商工課長が、いわゆる観光協会としっかりと連携をして取り組むと、こういうふうな言い方をされていましたが、令和7年度の予算案が議会の議決を経ていない中で、この一般社団法人平泉観光協会に対する事業費補助金額は、これだけ出しますよというふうに通知をするものなのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

協会への補助金の新年度の協会に対する通知についてはまだしておりません。

予算特別委員長（千葉勝男君）

8 番、高橋伸二委員。

8 番（高橋伸二君）

それは、私ははっきり申し上げて詭弁だとだと思うのです。なぜならば、2月21日に開催された観光協会の通常総会の新年度予算の中に、令和7年度に値上げをする補助金額を含めて明確に載っているではないですか。やっぱり、さっき課長しっかりと連携してやるなんていうこと言っているけれども、お互いに持つべき緊張感は緊張感として持たなきゃ駄目ですよ。なれ合いになってはいけませんよ。一般社団法人の組織として、本来自らが執り行うべき事業収益を上げるというような自助努力、これが希薄になりはしませんか、そういうことをやっていると。後でも触れますけれども、観光協会の計上収支の48%が町からの交付金です。異常ではないですか。

そこで伺います。令和6年度の決算がまだ見えていない中で企画をしていたわけなのですが、藤原まつり開催事業費補助金が令和5年度の交付金額と対比をして55万円増額となっています。55万円増額とした理由は何ですか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

藤原まつりの開催事業補助金、令和7年度550万円で令和5年度比よりも55万円増額となっているということの内容でございますけれども、1つは、協会で飼っている牛2頭、今、花泉の個人の方の業者に委託しておりますけれども、その飼料代、餌代が高騰しているというよ

うなところが一番大きいです。

あと、東下り保存会に委託している部分の役者の出演料、あと衣装代もトータル1,000万円以上かかっているのですけれども、それら含めてトータルで55万円増と。令和5年度から比べると55万円増、昨年度とは同額でありますけれども、そういった内容になっております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

8番、高橋伸二委員。

8番（高橋伸二君）

総括質疑でも触れますけれども、なぜそれを町が持たなきゃいけないのですか。今、答え求めません。

それで、次に伺いするのですが、同じく観光客受入態勢整備事業補助金、これも令和5年度対比で45万3,000円増額となっています。この増額の理由は何ですか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

この観光客受入態勢整備事業補助金につきましては、お祭りとか運営に関する補助ではなくて、具体的には中尊寺第1駐車場にある大型観光看板の更新に要する費用でございまして、その一部、町で補助するという事で、令和5年については毛越寺駐車場の看板を更新しております。令和7年は中尊寺第1駐車場、令和8年は花立地内、夢乃風さん、町道瓜割線のところにある大型観光看板を更新する予定で、3か所の事業になっております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

8番、高橋伸二委員。

8番（高橋伸二君）

今、課長言われるように、この補助金はひもつきの補助金なのです。目的がはっきりしているということ。今、言われた中尊寺第1駐車場の看板の関係では、令和6年度に補正予算で議決をしていませんでしたか。私の勘違いでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

すみません、手元に資料がないのですが、当初見込んでおりまして、これは県の地域経営推進費というので要求していたのですけれども、それがつかなかったということで減額しております。来年度も町で県の地域経営推進費を上げておりますので、単費でやるのも高額でありますので、そういった県の地域経営推進費の補助を頂いて実施したいということでの補正だったと記憶しております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

8番、高橋伸二委員。

8番（高橋伸二君）

今日の最後です。

ご案内のように令和7年度予算のいわゆる自主財源と言われるものが0.7%減額になっております。そして支出の面で見ると、これら一連の負担金や補助金の補助費もマイナス1.5%と全体的に縮減をされている状況になっていると。ところが観光協会に対する補助金だけは5.8%も増額となっています。これはなぜですか。

5.8%ここだけ増額になっているのを知りたい。全体下げるために。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

観光協会の分が5.8%増になっている理由でございますが、まず全体、観光の商工費の分でございますが、それが下がっているというのはいろんな要因がまずあります。

それで、去年は金色堂建立900年の事業があって、いろんな平泉観光推進実行委員会ですとか、世界遺産連携の実行委員会の分で増額となっております。今年度は通常に戻したということが、まず全体の予算でございます。なおかつその協会の分が5.8%増えているというのは、先ほどの看板の分も影響はしていると思いますし、あとはその事業、観光協会のほうに平泉観光協会運営費補助金、あと藤原まつり補助金、あとは観光宣伝事業補助金、あと花巻・遠野・平泉観光連携補助金等、これについては同額ではありますが……すみません、休憩でいいですか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

若干お待ちください。

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

すみません、今、令和6年度、今、確認しましたが、観光協会の補助金に対しては増えておりません、同額となっております。

それで、その下の平泉水かけ神輿30周年記念事業補助金というのは200万円、新規でありますけれども、これは平泉総社神輿会への補助金で、令和7年度は30周年記念ということで今年限りの補助金となっておりますので、その分だけ増えておりますので、観光協会については同額となっております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

8番、高橋伸二委員。

8番（高橋伸二君）

私が5.8%増額になっているという理由は、観光協会の令和6年度の収支勘定決算を見たときに、交付されている金額に対して令和7年度予算が100万3,000円増えていると。この100万3,000円というのは全体の増額率で見ると5.8%ではないですかと。

一方で、それ以外の136件でしたか、補助事業がある、一般会計から出す事業、それらはマイナスなのです、1.5%のマイナス。だからここは真剣に考えなきゃいけないですよということで、あとは総括質疑で扱わせていただきます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

いいの。

8 番（高橋伸二君）

総括で。

予算特別委員長（千葉勝男君）

分かりました。

以上で終わりですか。

8 番（高橋伸二君）

すみませんでした。

予算特別委員長（千葉勝男君）

どういたしまして。

ほかにございませんか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

6 番、三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

今、高橋委員が観光客受入体制整備事業で、答弁聞いて、ああそうか看板だったかと思い出したのですが、実際にこの商工業振興なり、観光振興なりでもやはり受入れ体制と、文字通り観光客なり、受入れ体制を強化する予算ってどこになるのかなということをお聞きしたいのです。というのは、財政面からいって、宿泊が3,000人減るといことで答弁もありました。そういう点で、まさにそういうところを強化しなくちゃ予算的にも、ならないのかなと思って聞くわけですがいかがでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

観光の受入れ体制というところだと思いますけれども、受入れ体制といってもいろんな幅広い範囲、範囲が広いと思うですけれども、いずれ先ほどの観光協会の部分であったり、世界遺産連携の部分の事業であったり、いろんな形で受入れ体制というのは整備しております。特に近年、平泉観光推進実行委員会の中に3つの専門部会設けていまして、その中で受入れ体制というようなところで、実際に事業をやっているのが、統一のれん事業で、今、20店舗ほどやっておりますが、同じのれんでおもてなしをしているというようなところもありますので、全ての観光事業に受入れ体制というのは関わってくるものというふうに考えております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかに。

5 番、阿部圭二委員。

5 番（阿部圭二君）

97ページの18節負担金補助及び交付金の中の、平泉芭蕉祭全国俳句大会実行委員会の10万円

ですけれども、これは芭蕉祭を平泉町で行うというような形の意味合いでよろしいのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

18節の負担金補助及び交付金の平泉芭蕉祭全国俳句大会実行委員会の10万円ではありますが、これは毎年開催しているものでありまして、これも実行委員会を組んでいます。中尊寺、毛越寺、町が事務局になっておりますが、あと観光協会、商工会で実施しているものでございますが、中尊寺と毛越寺を交互に会場に俳句大会を行っております。

全国から応募があつて、毎年、事前にいただく、投句でやっている事前の句があるのですが、それが1,000ぐらい来ております。当日句も何百というような句が来て、それをその日のうちに審査して表彰するというようなところで、非常にイベントとしては、結構大きなイベントでございます。一緒に束稲吟社の会も一緒にやっております。あと、全国に名の知れそうな俳句の先生、選者の方をお招きして、講演会であつたり、講評していただくというような形で、これは毎年実施しているものでございます。

あわせて教育委員会の部分になりますけれども、県内の小学生にも俳句を応募いただいて、審査をして表彰しているというようなところでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

5 番、阿部圭二委員。

5 番（阿部圭二君）

ある程度、見たことあつたのですが、かなりの数だということでびっくりしました。

それから、同じ項目でもう一点なのですが、江東区民と交流する会補助金なのですが、これは今回限りみたいな形の交流会なのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

同じく18節の江東区民と交流する会の補助金35万円ではありますが、これは毎年行っております。神輿の関係で平泉と江東区、友好都市を締結しておりまして、毎年10月に江東区の木場公園に行つて、物販販売と観光PR、あとは町長も一緒に行きますけれども、江東区長と懇談する会、懇親会もしております。町と神輿会中心に物販から観光、PR、交流会を開催しているところで、毎年行っているものでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

5 番、阿部圭二委員。

5 番（阿部圭二君）

平泉町に来るというわけではないのですね、向こうだけなのですかね。

予算特別委員長（千葉勝男君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

予算にある江東区民と交流する会は、江東区民祭りにこちらから出向くものでございまして、江東区からは毎年のように7月の水かけ神輿と新饅田の田植とか稲刈りに来るので、毎年3回は富岡八幡宮の宮司様はじめ、観光大使である高橋富雄さんも年に数回当町に訪れているというところでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行します。

次に、98ページから108ページの8款土木費についてご発言願います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

103ページの4目橋梁維持費14節工事請負費でありますけれども、これの工事箇所、今回の橋梁の工事の橋はどこになるのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

今年度は、中学校のところの新井田橋になります。

予算特別委員長（千葉勝男君）

2番、千葉委員。

2 番（千葉多嘉男君）

102ページ、8款2項2目道路維持費の14節工事請負費ですが、町道補修工事費の大きいところでいいので、内訳をお願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

道路維持費の内訳ですけれども、毎年の交通安全施設整備に150万円と、除雪等で損傷した箇所として150万円と、信金の前の歩道、鈴沢1号線の石畳補修として180万円、中学校線のガードレール補修として33万4,000円の内訳となっております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

11番、升沢委員。

1 1 番（升沢博子君）

103ページです。3目道路新設改良費の中の14節町道樋の沢大佐線の工事費110万円というこ

とで、用地測量が始まっているのだと思うのですが、この110万円の内容をお知らせください。

その下の16節の用地取得費は、これに関係する取得費なのかどうかお知らせください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

今年度用地取得いたしますので、その買収した分、田んぼになりますので、その分、畦畔をつくらなきゃ駄目だということになりますので、その分の工事費で110万円を計上させていただいております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

11番、升沢委員。

11番（升沢博子君）

この路線については、待望のというところで始まったところだと思うのですが、完了までに何年ぐらい、完了の予定なっておりますでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

令和7年度は用地補償費ということで、工事として令和8年度、令和9年度で一応予定しているところでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈委員。

7番（真竈光幸君）

小野寺課長、さっきの橋梁の維持費について、付け足してお聞きしなければいけなかったのですが、その橋梁の長寿命化計画の中の改修計画といいますか、その進捗をお願いしたいのですが。計画どおりに進まれている部分に含まれている部分の進捗率をお願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

本来であれば計画を今年度見直しというところだったのですがけれども、なかなか補助がつかなくて進捗のほうで計画どおり進んでいないということで、今年度は計画の見直しは計上しなかったというところでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

7番、真竈委員。

7番（真竈光幸君）

達成率って出ませんか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

大体60%ぐらいというところだと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

9 番、佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

103ページの3目道路新設改良費、12節委託料、平泉スマートインターチェンジ整備効果調査業務委託料30万円でありますけれども、昨年度も同じようになっております。これはどういう調査なのかということと、これはずっと続く調査なのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

スマートインターを造った際に、NEXC Oのほうに整備効果というのを求められておりまして、1,100台というノルマがありまして、それを達成するまで、例えばその台数をクリアするまで、こういったことをすれば効果が上げられるかとか、そういうのを求められておりまして、それを調査したりする経費でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

9 番、佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

今、1,100台を目指してどのような形にすれば1,100台になるかということを調査するということなのですが、それどうなのでしょう、呼び込むために何かをするという話なのですか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

そういったことも考えるということで、駐車場でイベントをしたり、そういったこともやっていこうということでございます。台数を増やすということを考えていくということでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

5 番、阿部委員。

5 番（阿部圭二君）

102ページの2目14節工事請負費の中のウォーキングトレイル修繕工事費ですが、100万円ですか、これは以前も100万円の計上がありましたが、かなり年数的にもかかっていくのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

ウオーキングトレイル、中尊寺から毛越寺に行く木道ありますけれども、その補修代として、毎年100万円、直すのに計上しているというところでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

5 番、阿部委員。

5 番（阿部圭二君）

進捗状況はどれぐらいなのか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

進捗状況といいますか、毎年壊れているような状況で、毎年それを直しているということでございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

5 番、阿部委員。

5 番（阿部圭二君）

以前も何か直していたような感じもしたのですが、何か造り方を変えるなり、できるだけ工事費がかからないような形に造っていくことというのは可能ではないのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

木道の延長が結構ありますので、それを全部造り直すとなるとかなりの金額がかかりますので、その箇所だけ直しているというような状況でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

それでは、ないようですので次に進みます。

次に、109ページから112ページの9款消防費についてご発言願います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

11番、升沢委員。

11 番（升沢博子君）

112ページ、5目災害対策費18節負担金補助及び交付金の中に指定緊急避難場所災害資機材購入補助金ということで、昨年、一昨年なかった形のものが入ってきておりますが、この内容、こういった備品をというお知らせください。

予算特別委員長（千葉勝男君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

こちらは、新しい事業、取り組みでございまして、地域防災力の強化ということが、今、非常に課題になっている中で、本年度防災マップを更新して、大規模地震や、それから頻発、激

甚化する大雨の災害の際に、速やかな避難行動を促すということを掲げている中で、それぞれの各地区公民館が避難場所となるということ、避難所として活用されるということを踏まえまして、その充実化を図るという意味で、資機材のほう、各自主防災組織に対して3万円を助成しまして、その資機材のそろえる内容につきましては、それぞれ各自主防災組織ごとにいろんな整備の仕方が変わってきているかと思しますので、それぞれの状況に応じて、相談に応じながら進めていこうかというふうに考えてございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

11番、升沢委員。

11番（升沢博子君）

関連でお聞きするのですが、やはり、今、課長おっしゃったようにそういった資機材もそうですけれども、避難所ということの訓練を新たに取り組むようなこれからの見通しはあるのでしょうか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

これまでも自主防災組織を対象としました研修会、勉強会といったことを繰り返し行ってきた、定期的に行っているところなのですが、そういった中で、各地区での防災訓練を実施してほしいという要請というか、そこについては、それぞれ各地域の方がそういう認識を強く持たれているかと思えます。今、委員おっしゃられた内容につきましては、町全体での避難訓練ということかと思えますけれども、これ一度、岩手県単位での平泉会場ということでやる実施見込みだったものが、コロナウイルス感染症の関係で中止して、その後機会があればということで考えております。まずはそれぞれの地域での訓練を充実させていただいて、平泉の場合は、特にも文化財を抱えていることで、文化財防火訓練を全体的でやってございますので、それ以外の訓練ということも必要性は十分感じておりますので、それにつきましても、今後各地域の皆様の実施に向けた機運というか、そういったものを高めながら、いずれ何かあったときは、実際体がすくんでしまうといったこともありますから、そういう訓練の必要性については十分訴えながら、町全体で実施できるように取り組んでいきたいなというふうに思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行します。

次に、113ページから126ページの10款教育費のうち、1項教育総務費、2項小学校費、3項中学校費、4項幼稚園費についてご発言願います。

2番、千葉委員。

2 番（千葉多嘉男君）

117ページ、10款2項小学校費、1目学校管理費、1節の報酬でございますが、会計年度任用職員報酬の内訳についてお伺いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

117ページの学校管理費の報酬の会計年度任用職員の報酬でございますが、こちら小学校費となりますので、平泉小学校、長島小学校における特別教育支援員に対する報酬というような形となっております。

来年度におきましては、各校の支援を要する児童生徒数を、各学校から聞き取り等の調査等によりまして、来年度につきましては、平泉小学校が5名、長島小学校が3名、これ小学校費でございますが、平泉中学校が4名といったところで、今年度と同様の配置で、今、考えているといったような状況でございます。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

2番、千葉委員。

2 番（千葉多嘉男君）

特別支援教育支援員ということでございますが、人数は先ほどお話しいただきましたけれども、各小学校、中学校とも昨年度と同じ人数ということですか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

委員おっしゃるとおり、平泉小学校5名、長島小学校3名、平泉中学校4名ということで、今年度と同様の人数を配置したいと考えてございます。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

9番、佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

115ページの18節負担金補助及び交付金でありますけれども、G I G Aスクール運営支援センター負担金79万円、これはどのようなものですか、お伺いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

115ページの負担金補助及び交付金のG I G Aスクール運営支援センター負担金の79万円でございますが、こちらにつきましては、現在、県のほうでいろいろ進めている事業ではございますが、公立学校情報活用支援体制整備費補助金に係るG I G Aスクール構想支援体制整備事業

のうち、学校のDXのための基盤構築のメニューの中に、教育情報セキュリティポリシーの改定をこれから来年度行うといったようなところでございますので、こちらにつきましては、事業は県と関連市町村による連携の事業として、県が取りまとめて実施するものでございまして、79万円の負担金となっております。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

9 番、佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

関連でございますけれども、2019年から政府が進めてきたものでございまして、2020年に平泉町ではタブレットを1人に1台ずつ配布したということでございます。そのときに、令和2年の主要施策成果報告書の中では、高速大容量の通信ネットワーク環境を整備することで教育現場での先端技術の効果的な活用が可能となったということが書いてありました。

これ今も小学校では、どのような使われ方をしているのか、前と変わらないのか伺いたしたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

1人1台端末の配置につきましては、令和2年度からスタートしてきたところでございますが、こちらにつきましては、導入後、各学校におきましてそれぞれ活用いただいているところでございます。タブレットの活用につきましては、教師が児童生徒の理解を促すために、例えばタブレット等を使いながら画像や動画を見せながら、分かりやすく指導しております。あとはまた、児童生徒同士でいろいろな考えを共有できたりというところでも活用して、それぞれ子どもたちのといいますか、個別の課題を克服するための学習に取り組んでいるところでございます。

いずれにおきましても、タブレットはデジタル教科書といったようなところも、今後導入されていくといったような状況もございますし、あとは全国学調といったところで、全国の学力調査の中におきましても、このタブレットを活用した調査といったような方向で、今、国のほうで進めているといったようなところでもございますので、今後もこのタブレットを活用しながら取り組んでまいりたいと考えてございます。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

9 番、佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

タブレットの1日に使う時間というのはどのぐらいですか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

1日に何時間といった統計は、実際は取ってはございませんが、いずれにいたしましても、各学校の状況に応じて、教科によっても使う時間も多くなるといったところもございます。基本的には毎日利用しているといったような形になっているものと認識してございます。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

よろしいですか。

9番、佐藤委員。

9番（佐藤孝悟君）

タブレットを使う前に、すでに子どもたちはスマホ、ゲームなどで映像を何時間も見ているわけなのです。そのほかに学校でも同じようなことになっているということは、一日中とは言いませんけれども、そのくらいに近い時間を使っているという話だと思います。

それで、GIGA構想の中で、タブレットを使用することについて先生方とか、PTAとか、親とか、児童もそのとおりでありますけれども、どのような話がなされているか聞いたことはございますか。

予算特別委員長（千葉勝男君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

スマホも大分子どもたちには普及しているといったような状況でございますが、まず各家庭におきましても、利用時間が増えているといったところも懸念されてございます。確かに先ほど答弁したとおり、学校におきましてもタブレットを活用している時間も増えてきているような状況で、やはりそういったところの心配があるかなとは認識してございます。

教育委員会といたしましても、学校の取り組みでもございますが、月に1回はノーメディアデーといったものを設定しながら、なるべくそういった媒体から離れる時間を設けて、例えば各家庭の取り組みとして、読書の時間に設けるとか、親子の会話の時間を設けるといったような取り組みをお願いするといったようなところで、教育委員会としては社会教育といったようなところも含めながら取り組んできている状況でございます。

以上です。

予算特別委員長（千葉勝男君）

9番、佐藤委員。

9番（佐藤孝悟君）

もう、今、世界の動きがどうも紙ではないとまずいのではないかという、そういう流れが来ております。2006年からスウェーデンではこのGIGA教育が始まったわけなのですが、もう20年近くになっておりまして、それで、大体紙ではないとちょっとまずいのではないかという、そういう話をやっております。法律的にもそのように決めたところもございます。

でありますので、やはりこれは簡単にはいいですよという話はないだろうと思います。

十分気をつけてこれを活用していかなければ、全然駄目だという話ではないです。いいというものもあるわけでありますので、その点は重々承知して、有効に使うような形に持っていく必要があるのだと思います。もう一度お願いします。

予算特別委員長（千葉勝男君）

教育長。

教育長（吉野新平君）

孝悟委員おっしゃるとおりだと思います。タブレットが普及されてかなり年数がたっておりまして、子どもたちのパソコンやらタブレットやらに関わる、携わる時間数というのは年々多くなってきております。学校でもそうです。これはとても教育的に効果が高いということで、全国的に導入されてきております。反面、やはり家庭でもスマホ等でゲームをしているわけで、目にも体にも心にも悪いのではないかという反応というか、声が比例して出てきております。

ですから問題は、どのようなタイミングでどのぐらい与えるかというところをしっかりと大人が考えていくことが大切だと思うし、学校だけではそれは解決にならないし、社会教育の中で、みんなで考えていくべきだと思います。もちろん家庭教育の中でもしっかりとルールづくりをつくって、そして我が家では何時になったら、このスマホあるいはタブレットは使いませんというようなルールづくりをしっかりとしていくことは、これは大切なことだろうと思います。並行してやはり紙媒体で教育をするというところ、原点に戻るということはとても大切だし、今、子どもたちに読み聞かせをしている、これ平泉でもたくさん読み聞かせをしているのですけれども、その読み聞かせをする中で心を育てていくということも併せて大切にしていかなければならない教育だと思いますので、こちらがよくてこちらが駄目ということではなくて、いいところをしっかりと伸ばしていく、活用していくということが大切かというふうに考えております。

以上でございます。

予算特別委員長（千葉勝男君）

まだありますか。

ここで暫時休憩します。

休憩 午後 3時11分

再開 午後 3時23分

予算特別委員長（千葉勝男君）

再開します。

次に、127ページから137ページの10款教育費のうち、5項社会教育費、6項保健体育費についてご発言を願います。

2番、千葉委員。

2番（千葉多嘉男君）

134ページの10款5項4目18節の負担金補助及び交付金、平泉の文化遺産に係る費用負担金に関する件でございますが、世界遺産の追加登録に向けての今後のスケジュールを分かっている範囲でお知らせ願いたいと思います。

予算特別委員長（千葉勝男君）

高橋遺産センター館長。

平泉文化遺産センター館長（高橋国博君）

ただいまの世界遺産登録に向けた今後のスケジュールというご質問でございましたが、まずこれまで世界遺産登録のプロセス等につきましては、国内で文化庁とかで推薦が決まれば推薦書の提出となっておりますが、現在につきましては、推薦書の提出の前に事前評価申請書というものをイコモスに提出いたしまして、イコモスから技術的、専門的な指導・助言を受けて、その内容を推薦書を作成するというようなことになります。

この事前評価申請書を提出してから登録までは、最短でも4年かかるというものでございます。ですので、例えばでございますが、最短で令和7年9月に提出をするとすれば、令和12年の世界遺産委員会での審議というふうになるというものでございますが、いずれ今後のスケジュールにつきましては、イコモスからの評価書の内容といいますか結果が重要になってくるものかなというふうに考えております。

予算特別委員長（千葉勝男君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行します。

次に、138ページから141ページの1款災害復旧費、12款公債費、13款諸支出金、14款予備費についてご発言を願います。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行の声があります。進行してよろしいですか。

進行します。

次に、142ページから154ページの給与費明細ほか、説明書についてご発言願います。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（千葉勝男君）

進行の声がありますので進行します。

これで歳出を終わります。

以上で本日の日程は全部終了しました。

なお、次の本委員会は10日午前10時から行います。

ご起立を願います。

本日はこれで散会いたします。

大変お疲れさまでした。

散会 午後 3時28分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

予算特別委員長 千葉 勝 男